

た知識をボリビアに帰国後精いっぱい活用して生かしたいと思います。しかし、天と地ほどの技術、設備の備わっている所では色々な面から見て研修成果をそのまま生そりとするのは難しいものと目に見えています。全部は出来なくてもその一部でも地域の人々に役立てればと思います。研修期間中終始見守って下さいました国際協力事業団の皆様、ならびに御指導下さいました研修先の方々に心から御礼申し上げます。

松 本 伸 彦

1. 研修機関 (1) 前期 4月7日～56年9月26日(諫早市,長崎県農協研修所)
(2) 後期 56年10月8日～57年9月25日(大村市農協)
2. 研修期間 1年6ヶ月
3. 研修職種 農協経理
4. 当初の研修計画

日本を訪れる前に、自分なりに思っていたものは次の通りです。

- ① 祖国日本の発展ぶりと、高度な技術力を見聞すること。
- ② 私自身、ボリビアの農協に勤務していることから、日本の農協、日本の農民を知ること、さらに、日本の農協の経営方法、並びに経理、会計処理システムを勉強すること。
- ③ 祖国日本の皆さんと交流し、親交を深めること。

以上が、私の研修計画です。

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

1981年4月3日、日本に到着後、1年半の研修スケジュールを下記の通り行いました。

- ① 長崎県農業協同組合中央会の農協研修所で6ヶ月間の長期研修を受ける。

研修内容。(宿泊研修)

- イ 農業協同組合論
- ロ 農業協同組合法規
- ハ 農協簿記
- ニ 会 計
- ホ 農政及び農業経済論
- ヘ 経営論
- ト 民 法
- チ その他



大村市農業協同組合における研修

研修成果

農協職員としての基礎的な知識と技能を養うための研修で農協とは何ぞや、という根本的な事から実務まで研修でき、また日本の実情を知る貴重な半年間であった。

- ② 長崎県大村市にある大村市農業協同組合に1ヶ年の実地研修に入る。

研修内容

- | | | | |
|---|------------|------|-------------------------------------|
| イ | 56年10月～11月 | 経理課 | 伝票の仕分け、基礎研修。 |
| ロ | 56年12月 | 園芸課 | 販売代金精算事務。 |
| ハ | 57年1月 | 竹松支所 | 組合員との接触、農民の実情を知る。 |
| ニ | 57年2月～3月 | 園芸課 | 精算事務 |
| ホ | 3月～6月 | 経理課 | 決算、貸借対照表、損益計算表作成、業務報告書作成、法人税の申告書作成。 |
| ヘ | 7月 | 福重支所 | 組合員との接触、共済推進への参加。 |
| ト | 8月 | 電算課 | 試算表の作成、プログラムの組み方。 |
| チ | 9月 | 経理課 | 経理事務の総仕上げ。 |

研修成果

実地研修では直接農協の実務にたずさわり、また農家、組合員との接触も行った。ここでは、特に農協の経理事務の合理化や経営のやり方等に大きな興味をいだき、かつ、ポリヴィアへ少しでも進んだ技術を持ち帰ることができると思った。正に実りある一年間であった。

(詳しいことは所感で述べることにします。)

6. 当初の研修計画と実際の研修内容を比較して

帰国するときは、日本へのあこがれからか、すべての面で日本は進んでおり、すべての日本人が豊かで、ゆとりのある生活をしていると思った。現実はずべてそうではなく厳しい面があることがわかりました。

農協での研修では、ポリヴィアとの違いは大きすぎるが、事務の合理化と経営の安定は見習うべきであり、特に経理とコンピューターを直結したシステムは、すばらしかった。したがって当初の研修目的からして、日本の非常に進んだ技術力と経済力をそのままポリヴィアに持ち帰れませんが将来、生かせる技術を多少なりとも修得できたことに感謝しています。

7. 合同研修について

研修期間中、何度か仲間たちと会い、交換会や旅行が出来た事は本当に楽しく、心に残るものでした。時には迷い、さびしさを感じることもありましたが、合同研修会で仲間達や事業団の皆さんの励ましがあり本当に感謝をしております。

8. 本邦での生活状況

4月3日、日本に到着。地球の裏側だというのに建物もあたりまえに建っているし、大きくて、

しかも多い。又自動車の数、アリの行列のような人の群、ビルとビルの間をゆっくりと走る電車、目に入るものすべてが夢のように思えた。これは当り前の事だが人間すべてが皆、日本人で日本語で話している。又生れて初めて乗った新幹線はボリヴィアのディーゼル列車と比べれば正に天と地の感があった。

このように不安ととまどいの中で、研修を続けましたが、生活するうえで困った事は毎日、肉を食べれないこと、日常の生活必需品など物価が高かったことでした。また食習慣の違いからか、日本人は楽しみながら、食事をするということがないようでしたが、これも次第に慣れてしまいました。全般的に日本は物質的に非常に豊かで、お金さえあれば、すばらしい生活ができるが何か気持の中に満ち足りないものを感じた。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

研修期間中にもっと専門的な技術を修得したいと思っても、なかなか途中で変更できない面があります。例えば、医療器具を勉強したいとか養鶏技術(ケージ飼育)で実際に作ってみたいとか、いろいろな面で柔軟に対応できるようにしていただければよいと思います。そして一年半のところを2年間にしていただければと思います。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

この一年半の研修を通して、日本の習慣や日常生活など、そして表面的ながらも日本の発展ぶりを自分の身をもって確める事ができました。その結果、来日前想像していた日本は頭から消え、現実的に日本の良い面、すばらしい面と同時に国際感覚とのズレやみにくさなど、悪い面も体験してきました。外観を見て素晴らしいというような甘いものではなく、かなり厳しさがあったと思います。

さて私の日本での研修もあとわずかでピリオドをうとうとしています。せっかくの友達、なじみになった人と別れなければならぬことがとても残念でたまりません。

しかし、日本での研修をボリヴィアで生かし現地で頑張らなければなりません。日本とボリヴィアとの交流親善をより一層発展させ、またいつか日本を訪れることが出来るように希望しています。

1981年、待ちに待った祖国日本に無事到着。直ちに、海外移住センターで3日程、先輩らの体験談、研修計画、その他アドバイスを受けました。

その後研修先の長崎県諫早市にある農協研修所に入所。県下の農協職員30名と一諸に長期研修(6ヶ月コース)を受けました。

入所すると思ってもいなかった自衛隊への体験入隊がありました。本当に厳しい所でしたが、厳しかったゆえに心に残るものが多かった。又研修所も大変厳しいもので、ボリヴィアで自由な毎日を過していた私にとって当初はとてつらい日々でした。

授業については、当初言葉さえ自分の気持ちを相手に伝えるだけでも、精一杯だった私に、いきなり専門の教科書が手渡され大きなショックを受けました。農協論、農協法、簿記、会計、経済論、民法など……多数。最初の頃は講義を聞いていても意味がよく理解できず、つい別の事を考えたり、

いねむりをしたりして、先生や仲間は大変ご迷惑をかけました。

しかし、だんだんと私の苦勞も先生方の良き御指導、仲間らの助け、そして自分自身の努力によって言葉や生活等にあまり不便さを感じなくなり結果的にこの研修所での生活が、日本語や農協、又日本の実情を勉強することで貴重だったと思っております。

諫早市での研修を終え、9月30日海外移住センターに再び集合。10月3日、先輩らを見送った後、静岡県伊豆長岡へ研修旅行に出かけ大変楽しい日々を過ごしました。

10月8日から一年間の実地研修を再び長崎県は大村市の大村市農協でお世話になりました。市内に親戚がありましたので、そこに下宿本格的な実務研修を行なったわけです。

初めの1、2ヶ月は環境や雰囲気慣れるのが精一杯でしたが職場の皆さんの親切なご指導によりだんだんと慣れる事ができました。

仕事は主に経理事務を研修しましたが、農協を知るために販売物精算事務や組合員と接する支所での研修、また事務、会計処理を勉強するためのコンピュータによる試算表、プログラムの作成等を熱心に研修しました。

以上の研修を通じて感じたことは、日本の農協はボリヴィアの農協と違って、購買、販売事業の他に、信用、共済、指導事業もやるという総合農協で、経営も安定しているようでした。驚いたことは、ガソリンスタンド、理容店、冠婚葬祭事業まで手を広げているし、コンピュータで事務の合理化を図るなど非常に経営技術が進んでいることには感心しました。

この研修に当っていろいろお世話して下さった国際協力事業団の皆様、親切に御指導して下さいました研修所の先生方、農協の皆様、深く感謝しております。本当にどうもありがとうございました。

吉 元 美貴子

1. 研修機関 (1) 前期 神奈川県立農業大学校、
(2) 後期 東京農業大学
2. 研修期間 昭和56年4月～57年9月
3. 研修職種 前期 (養鶏コース)
後期 食品加工(栄養学)
4. 当初の研修計画
前期 課題学習「肉用鶏の飼養技術と発育について」
目的
1. 飼養技術の習得
2. 肉用鶏の栄養生理と体の発達を知る

3. 肉用鶏の解体技術の習得

4. 病鶏の解剖と診断

5. 研修概要（具体的研修内容及び成果）

プロジェクト学習 作業内容

1. 餌付け
2. 毎日2～4餌，水を与えます
3. 雛の時は朝，夜，見回ります
4. 毎日，朝夕，育すう器内温度の記録記入
5. 最初の2週間は毎日真をとって，その後週に1回
6. 週1回肉用鶏体重の計り
7. 飼料切り替え2回します
8. ワクチン接種ND IB ND. IC 鶏痘，デビーク
9. 毎週解剖
10. 出荷（解体）

期間 70日間

毎日の研修内容

午前

6:20 起床

6:30 点呼，そのあと掃除

（当番の日）鶏舎をあけ，カーテンを上げ，水の様子を見て餌ならしをします。雛が入ってる時
育すう器の温度を記入し，餌やお水を与え，寒い時期はガスをストーブに入れ，雛の
様子を見ます。

7:15 朝食（食当は食事の支度と後かたづけにお皿洗い）

8:45 点呼，デンマーク体操

作業はその日によって違っていました

（ワクチン接種，解剖，草刈り，消毒，はい鶏，じょ糞等）

（週に1～3回講義がありました）

0:15 食事

1:10 点呼

午後の作業内容 集卵，箱結，給餌，温度記入，カーテン下し，見回り，門を閉めて

4:30に終了

5:10 夕食

夜週に1～3回バドミントンかピンポンをやりました。

9:30 点呼

10:00 消灯

成果について

1. 人間関係の勉強の上に良い友達が出来ました。
2. 現在の日本の人の考え方や農業について知ることができました。
3. 農家や工場見学しました。
4. 特別に
 - a) 20日間雑籾別の練習して89%まで出来るようになりました。
 - b) 神農大にいたる時期が過ぎて農大生として養鶏の農家で6日間の実習ができました。
5. 養鶏の飼育管理についての理論、実習は修得できました。

後 期

東京農大の近くで(20分)、他の12回生3人と同じ下宿先で半年をあっという間に過ごしました。栄養料の食品原料研究室で食品加工を少しやってジュース(オレンジ)、ジャム(イチゴ、バラ、うめ)、マーマレード(オレンジ等)、パン、うどん等の製造方法を学びました。冷凍食品の方ではいんげん豆やほうれん草等を作りました。分析については、ビタミンCの定量(ヒドラジン法とインドフェノール法)と総酸量の定量法を覚えました。



6. 当初の研修計画と実際の研修内容とを比較して

農大に入る前の計画と入ってから計画には違いますが、前期後期の計画(入った後)は60%まで出来たと思います。

しかし私自身の計画の50%も実現できなかった事が残念です。

7. 合同研修会について

合同研修会はとても良いと思います。できればふやして欲しいです。特に初の半年に1回ぐらい、最後の半年はそのままで良いと思います。日本に来て分らない事が沢山、研修が自分の希望とは違う、ホームシックになりそう、相談相手が欲しくなったその時に皆に合うことが何よりの喜びと慰めであると思います。人によって研修内容と希望とが違います。今のままで良いと言う意見が出るかもしれません。しかし人の状態は毎月の研修報告書だけで分ると思いません、それに難しい事は早めに本人と直接会って解決して欲しいと思います。

8. 本邦での生活状況

前期は寮生活をしていましたので経済的には比較的ゆとりがありました。お休みの日はほとんど畜産の当番で、遊びは出来ず余裕のあった分は写真(プロジェクト, 見学), 本, 見学, 校外実習等に活用しました。

後期は一人下宿暮らしに慣れてなかったで、初めはむだもあってか生活は苦しく、研修生活費でまかなう事は容易なことではありませんでした。

9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

国の大事な予算を使って、大事な人生の1年6ヶ月間、皆様が私達の為にする仕事、それに私達の希望と努力をこの研修に足してできるだけ100%の成果にするか近付けるのが最高ですが逆にその効果が出ないとしたら…… 相互連絡, 話し合い, 理解はとても大切だと思います。相手が何を言いたいのか, 何を求めているのか, 外国と日本は違うのであせらず誤解のないように早めに解決した方が良いのではありませんか。

10. 所感(帰国後の抱負を含め)

何年後の計画, 今は立てたくありません, その時はその時で出来るだけ良い方に進みたい。

この1年半をむだにたくありません。計画に拘らずに, 背伸びせずどんどん進みたい, 今までやった事が自分にとってプラスであって欲しい。

帰国後は先づ大学を続けて卒業したいと思います。最後に神奈川農畜大学校および東京農畜大学の皆様, 大変お世話になり感謝いたします。

瀬戸ホルへ

1. 研修機関 (1) 前期 東京医科歯科大学
(2) 後期 東京医科歯科大学 歯科学(補)
2. 研修期間 昭和56年4月~57年9月
3. 研修職種 歯科技工
4. 当初の研修計画

指定された1年6カ月を, 6カ月間ずつ, 3期に分けてポーセレン技術を研修することとしました。先ず, 第1期には, ポーセレン技術の基礎的な勉強及び実習をする。

模型上で前歯2本, 小臼歯1本の金属焼付けポーセレンの単独クラウンを作製し, ステップ写真を撮ります。

第2期には, 前述の模型の製作実習をします。このブリッジは, 単独クラウンに比して, はるかに技術的な高度さが要求されます。第3期には, 1年間で修得したポーセレン技術を実際に患者に

に対して施行します。

5. 研修概要(具体的研修内容及び成果)

日本で1年6カ月の期間に勉強をした事は、6カ月間ずつ3期にわけられます。

第1期の6カ月、毎日9時30分から12時までと1時から3時まで私の先生達の治療を見学をさせていただきました。そしてそのあとから、大学生と一緒に実習をしました。しかしペルーで学んだ歯の形成は日本のと比べると、少しちがいましたから、この練習が一番時間をかかりました。

また、技巧室で色々な器械…と材料の使い方をならいました。

この最初の6月間にポーセレンのクラウンの作り方を初めて学びました。私はその時までただ写真だけでしか見た事がありませんでした。

第2期の6カ月間に私の先生達の治療の見学をつづけながら新しい技術をどんどん学び、講義と実習は倍加しました。



また午後には先生達の講義に出ました。ペルーにかえってから日本で学んだ事を大学で教えるためにポーセレンのクラウンとブリッジのステップ模型をつくりました。この6カ月のおわり頃には患者を直接担当しその時まで学んだ技術を実地に自分で治療することも許されるようになりました。

第3期の6カ月間に私の先生達による治療の見学は止め、かわりに技巧の訓練と自分の患者を多く持ち実地治療の時間を倍加することが出来た。実地訓練は私の患者の技巧とほかの先生達の技巧をも手伝い1日の3/4の時間は、技巧訓練ということがいえます。最期の6カ月間にポーセレンの色の出かたを学びました。

6. 当初の研修計画と実際の研修内容を比較して

私のために先生がプログラムを組み、私はこれに従って勉強をさせてもらいましたが、成果は予定以上のものが出来たと考えています。学びたかった技術について、私は非常に満足しております。それ以上に学んだ技術を患者で実地訓練をさせてもらいましたので私はとても感謝しております。また私の専門以外の分野まで学びました。

7. 合同研修会について

日本での1年6ヶ月間の間に6カ月毎に行なわれる合同研修会については、非常にわれわれにとって有効だと思います。

一人、一人が別々に日本に研修している間には色々な事件おこりますが、ひとりだけでこれを考

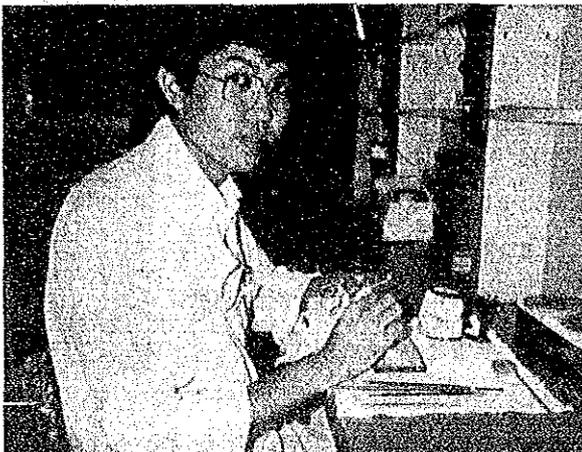
え込んでいたのではその良悪について判断をまちがえることもあったと思います。

私の場合は、合同研修会の折のみんなの問題をきいてからもっと努力しなければならぬ思いをしたものです。

8. 本邦での生活状況

私が日本にいた期間はだいたい大学と家ですごしました。時には1日が長く思えたりまた短くも感じたりもしましたが私にとっては、本当に良い経験でした。

日本での1年6カ月のあいだに感じたことは、簡単に言えませんが思い出してみると頭に色々な思い出が浮んできます。たとえば日本の電車の看板、はてなネオンの看板、デパート、大学、観光地、駅、友だち、先生、先輩と後輩、患者さん、会議、クリスマス、新年、雪、季節、専門、和菓子、テレビ、手紙、瀬戸物 etc, etc これを全部組み合わせると、それが私の日本の生活だと思えます。



9. 今後の子弟研修制度に対する提言及び要望事項

まだアドバイス必要な人がアドバイスする事は難しいですが日本での経験から将来に来る研修生について、日本に来るまえに日本語の勉強してから来たほうが良いと思います。

世界どこでも歯科学の勉強は金がかかります。特に物の高い日本ですから将来に来る研修生のためにも研修生活費の予算を少しあげたほうが良いと思います。

10. 所感（帰国後の抱負を含め）

私にとって日本に過ごした期間は非常に良い経験でした。専門の勉強だけではなく私の生涯のために多くを学びました。日本に居る間にペルーの事と日本の事と比べてみて、ペルーは貧乏な国ですけれども、金では買うことのできないものがたくさんあります。また、ペルーを出る時、父や母が言った日本で頑張れの意味も実感としてよく分かりました。この事は日本に来てから、それは一番感じた事だと思えます。回りを見るとみんな一生懸命働いている、本当に感心します。

また、日本は外から見るとすごいミックスの感じします。たとえば建物、衣服、食べ物、デコレーション、言葉、etc etc。でも日本人の考え方は巾が狭いように思います。ですからもし一人だけがその考え方からはみ出ますと、すぐみんなから嫌われるように感じました。

もう一つの事は日本人はどこでもグループでないと生活が出来ないような考え方があるように思います。

日本で日本人はだいたいみんな同じレベルの生活をしておりますが、先輩と後輩の間ははっきり分れています。

日本は時間が正確で勤勉で競争が激しく、気分のゆとりのない国にもみえました。ですが私は、私が日本に居ました期間の良い経験を正直に私のためにだけでなく私の子供にも与えることができると思います。

ペルーに帰ってから私は卒業した SAN MARCOS 大学で日本で学んだ事を教えたいと思います。そして将来にできれば自分のオフィスを開きたいと思います。そしてそこで日本で学んだ技術の勉強を続けたいと思います。

日本は毎日新しい技術をつくっておりますので、もしできれば将来、再びその新しい技術を日本にきて学びたいと思います。

前期研修を終えて

鈴木俊一
後藤真吾
石東寅雄
永橋正也
関節己
井上悦子
瀬戸ホルヘ

前期研修を終えて

鈴木俊一

日本に来てすでに一年たち、ふりかえって見るとなんと早い時の流れだろうと思う。自分がブラジルを立つ時に、日本にいた期間は一時一時を大事に、自分の目に入る物はみんな吸収し研修の一部としておこうと思って来ました。

ブラジルの自分の家では養蚕を重点にした農業を行なっている。そのため今度の研修についても初めの一年を養蚕としました。

日本の蚕糸業の中で群馬県が一番であり、又蚕業試験場も長い歴史の中に作られて来たものと聞いていました。自分はその試験場に入り多くの学生と一緒に一年間養蚕の勉強をして来ました。そして多くの講義を聞く事が出来た中において、絹糸は日本での輸出物としては一番初めに作られた物であることが分かりました。

そのため繭の取引方法も昔から色々と変られて来た。それでも初めは各農家と製糸会社のため、いつにおいても買手の言う値段で買取られていました。これらを防ぐため今日は府県などの機関によって繭の検査と格付けを行なうことが実施されるようになった。これを繭の第三者検定と言う。これに対して農家でも各地域別による総合組合を結成し確実な物を作り上げている。そのほか養蚕農協連合会により繭糸価格安定などにより、日本の養蚕は大きく発展を辿るようになりました。

こうした素晴らしい面もありながら、今日日本の養蚕農家の戸数が年々に減少しているこの問題は、農家の農地の減少、人手不足、若者の後継者が少ない、などの原因がある。

そのため小規模の養蚕家は自分の桑園を大規模養蚕家に貸し又は売っている。その反面繭の生産性にはあまり変化はみられずにいる。

これらのため日本での養蚕は春早く、又は秋口遅くまでの飼育が行なえるように多くの技術が生み出されている。桑の苗一本についても接木などを用い手入れよく育て上げている。

桑の刈取りにあたっては後の蚕期を考えて多くの位立方法が用いられている。飼育法に見ても今は蚕室の新築が困難なためにビニールハウスを利用する飼育方法が試験されていた。それによると温湿の調整、通気の流通などに注意を払い、飼育すれば十分に使えることがわかった。この方法を持ち入れば蚕室をふやす事ができ、また資材は日本では買入れしやすいため、今後の成果を期待できる。

多くの蚕の病害虫対策として、第一に消毒が大事である。今数多くの蚕の病気は知られているが蚕にかかったものはなおしがきかずそのために掃立前の準備および消毒を徹底的に行なう事が、今では一番の防除法ではないかと思った。そのほか今日日本では人工飼料による飼育が進められている。

これらの事を学びながらも、自分の行なっていた養蚕と日本の養蚕では大きな違いがあり、そのため実習期間に学ぶことはみな初めてのことが多くとまどいながらも時が過ぎるにつれて休でなれ、ひとつひとつを何んとか追いついて行くようになりました。それでも日本語の字ではさんさん悩みまし

た。こうした状況においても多くの講義をうけたため自分にはすごくプラスの面がありました。

自分で一番興味を引いたのは繭糸価格安定法である。今のブラジルの繭の売買は日本の明治末期頃となんの変りない方法がとられている。これでは今後のブラジルの養蚕業は只後退するだけである。それを防ぐには何人としても、今の売買方法を代えて繭糸価格安定の必要が強く感じ、これらを自分たち若者が代えて行くように力を合せる必要があると思いました。

またこれまで一年間、数多くの養蚕に対する知識をえることができ、おかげでこれからは色々な本を見て分るようになりました。これもみんな国際協力事業団の皆様、並びにご指導下さいました試験場の皆様により無事一年がすぎた事は心から御礼申し上げます。これにこたえる為には今後帰国後は出来るだけ今まで学んだことを役立てて部落の人達ならびブラジルの養蚕のために頑張りたいと思います。

後 藤 真 吾

昭和56年4月3日国際協力事業団の11回研修生としてはるばると日本へやって来ました。

それからはやくも一年がすぎました。初めの2、3ヶ月はとても長く感じました。でも今、後をふりかえって見ればこの一年の月日が早くすぎたと思っています。

日本へ来た時の私は、こちらの事を何も知らなかったので少し不安でした。たとえ日本で生れたと言っても4才の時に、父母につれられブラジルへ渡りましたので、こちらの事はほとんど覚えていませんでした。

私は、小さい時から自分の生れ故郷へ一度行きたいと思っていました。それがどうして夢の中の日本が今私の人生の中心で色々と教えてくれています。

この一年間の生活で沢山の事を学びました。つらい一人暮らしと全然知らない国で色々と失敗しながら覚えてきた事はこれから私の一生を強く支えてくれると信じています。

この過ごした一年間の中で私が自分をよく知る事が出来たことに感謝しています。私にとってはこのことが一番勉強になったと思っています。

そのほかには沢山の友達ができていろんな国のことを知ることができ、人間関係が広がったことにも感謝しています。

私の研修については思っていた様にはいきませんでした。それは自分の日本語が思ったより出来なかったからです。だからこの一年間の学生生活はとても厳しかった、字をろくに読めないで勉強してきたのですから、そんなにうまくいけるはずがありません。しかし研修先の皆ながとても親切に色々と教えてくれたおかげで少しはマスターできました。

学校ではこの一年間いろんなことをしました。たとえばモーター、変圧器の設計と組み立て、シー

ケンスコントローラーの実習と色々学びました。

これからもがんばって残りの6ヶ月を私にとって最高の研修をしていきたいと思っています。

石 東 寅 雄

この一年間日本で研修生活をやって来て、一年と言うものは、自分が思ってたよりも早く過ぎたと、感じました。

前期10ヶ月間は静岡県富士宮市で酪農の勉強を農家や試験場でお世話になって色々学びました。

初めの6ヶ月間は農家で育成牛実習をする事になり、56年4月15日から、実習が始まりました。仕事については、思ったよりきつい事はなかった。けれど、この時期はまだ寒い日でしたので、なれない僕にはたまりませんでした。そのため病気もして一苦労をした覚えもあります。

富士宮で一番印象に残っているのは牧場から見た美しい富士山です。毎日イキイキとした富士山を見ることができて、研修先ではあれほど良い景色は見れないと思いました。

夏には牧場実習が少しきびしくなり、牧草の取り入れが始まってもっとも忙しかった。その上、夏には牛病気がおおはばに発生をします。夏の病気で一番あぶないのはピロプラズマ病で、それにかかると貧血を起して治療に大変でした。治療したあとには夜でも1~2回は見に行く事は欠かせない仕事でした。

6月の梅雨の時期には来る日も来る日も雨が降り続くので、その時の実習ときたら本当につらかった。

僕のもっとも好きな事は旅行ですが今まで何んべんか、農友会のおかげで全国4日クラブ大会に参加をさせてもらい、鹿児島県で1回と福島県で1回の、各大会で良い思い出が残っています。大ぜいの人と出会って友達もできました。10月6日から畜産試験で研修する事にしてもらって、ここでは主に乳牛と肉牛の実習と、家畜人工受精講習を1ヶ月受けました。講習の試験の時にテキストが読めなかったので先生に教えてもらってなんとか答える事ができました。

畜産については、日本で初めて経験したが、ブラジルと比べると大変高い技術の酪農でした。僕にはまだわからない事があると思うが、学んだことは先でかならず生かすつもりでいます。

畜産の勉強は57年2月1日に終って、又新しい研修に入る事になって今度は花のほうで菊の栽培について研修を続けています。

日本の冬も体験して、美しい雪も見まして楽しいスキーもすることができ、最高でした。

この一年間自分で実際経験した事で一番困ったの漢字でした。これから後の半年は、わずかな期間ですが楽しい研修である様に頑張ります。

永 橋 正 也

月日の過ぎ去るのは早いもので、去年の4月に日本に帰って来てもう一年が過ぎました。

この一年間を振り返ってみると楽しいことや苦しいこと色々ありました。

前期は岡山大学農学部花卉研究室で小西農学博士の下で研修を受けました。小西先生はアルゼンチンへ一年半の期間で行かれ、各移住地の農家を見学して指導されたので、現地の花弁栽培の状況を良く知っておられ、とても良い研修を受けることが出来ました。

研修については、初めの半年間に小西先生の植物発育論と花卉園芸学の講義を受けました。最初は聞きなれない単語が多く出てきて理解するのに苦労しました。この講義では農学、特に園芸学の基礎として胚の形成から次代の種子形成までの諸過程、つまり植物の生長と発育が環境との対応の中でどのように展開していくのか、又植物体内での生理的過程を直接的に制御するChemical control植物生長調節物質についての講義でした。僕にはすべて新しいことでしたけれど、とてもためになることだと思いました。

花卉園芸学では、花卉の分類、繁殖(種子繁殖、株分け、球根繁殖、取木と接木、挿木繁殖、組織培養による無病苗の育成)、土壌管理、水管理、栄養管理、花卉栽培の一般管理、開花調節などについての講義でとてもいい勉強になりました。

5月の末からは、カーネーションの夏場の水管理の実験をやりました。これはテンジオンメーターを用いて灌水点を1.5, 2.0, 2.5, 2.8 と4区に分けて行ないました。その結果はP.F1.5と2.8区では2.8の方が一ヶ月もおくれて開花し、夏場の水管理が非常に重要なことがわかりました。次にユリの球根繁殖について、NAA, BAをランolinペーストにして茎に傷をつけ、その部分にぬり付けて新球を形成させる方法とリン片繁殖を行ないました。

8月からは大学の農場で安井先生とユリ、フリージア、球根アイリスの促成栽培を行ないました。そのほか、僕が研修目的としていたカーネーション、キク、宿根カスミ草などの茎頂培養をやってきました。

この一年間岡山大学にて多くの良き先生たちと接することが出来、又多くの友人が出来とても良かったと思います。

後期の研修では農家に入り、日本でのカーネーション栽培技術を身に付けたいと思っています。

関 節 己

第11回移住者子弟技術研修生として、日本を訪れずで1年間と言う月日が過ぎてしまいました。前期研修は長いようで短かった気もする。しかし今になってレポートを書くに当たって研修での生活、

体験の思い出がかすかに浮かんでくる。

4月3日成田空港に着いたころ私にとって肌寒く感じ、横浜移住センターに向い途中で咲く桜の花が印象的でありました。一週間は日本の生活に馴れる事が第一で時には鎌倉、東京、三景園を見学をする。13日には目的地であります群馬県畜産試験場に向い途中で不安を感じるばかりでした。

初めの1~2カ月は同じ寮生とはコミュニケーションは難しく、環境に馴れるためにただ一生懸命でした。寮の窓からうしろに赤城山も見えて、夏は緑り、秋は紅葉、冬は時々白一色になり美しく、雪景色がとても印象に残っています。

研修内容はおもに採卵鶏を専攻し育雛管理については防疫、衛生、管理の実習を行う、悪癖をなくすためにはデビッティングを行い病気の予防としてワクチネーション、プログラムにしたがい定期的に行う、養鶏を飼うにあたって育雛鶏にもっとも注意し、採卵鶏になると個体、数の記録、1羽1羽の観察が必要と思います。

中でも一番興味をもっていたのはコマーシャル鶏を12群あつめ経済能力検定の試験をしていたことです。コマーシャル鶏の産卵能力、飼料の摂取量、生存率、個数を記入、規格別にわけ比較してもっともすぐれた鶏をいくつか選び出せました。

日曜、休日も休みはなく、友達が多くできなかった事は残念ではありますが、その反面、動物を飼うに従って経営の厳しさを知る事が出来ました。

私は養鶏を希望し日本に研修に来ましたが、夢にも思っていなかった、半課程である人工授精講習会を1カ月間にわたり研修し合格できたことは幸運だったと思います。2週間はテキストに従い講義を受け、のこす期間は実習をすることができました。1頭の雄から多くの雌に種付けできることが特徴だとは思いますが。近い将来こうした技術を応用できる時期がくることを願っています。

幸い良い先生方にも恵まれ親切にご指導していただき、無事前期研修を終えることができ本当に有難うございました。

残す半年間も1日1日を大切に悔いのないよう頑張っていきたいと思っています。

井上悦子

夢と希望に燃えて両親の祖国で技術研修を始めてから、早くも一年が立ち振り返れば長いようで短かい一年でした。日本に入国した時一番不安でしたのは、日本は学問的にどのくらい進歩してるか？私達、不十分な日本語でついていけるかどうか？又、親類のおじさん、おばさんに見えるうれしさとの入り交った複雑な気持ちでした。でも親類の方々、学校の先生方、病院の皆さんは暖かく迎えて、親切にしてくれたおかげで、ここまでやってこられました。現在午前中宜野湾胃腸科医院で実習させてもらい、午後から沖縄県立浦添看護学校に通学しています。当初は先生の講義もあまり意味がわから

ず教科書を見ても専門用語でいっぱい、又、先生の黒板のくずし字で、自分の読める漢字も読めなくなりイライラすることもありました。又、病院では色々な設備がされており見たことのない器具や薬液があり、自分自身も看護の知識もなく何から手をつけて良いかわからず先輩の看護婦のあとに着いて行くことしか出来ませんでした。此頃は、胃のレントゲン、胃カメラ、心電図などの取る前の準備が一人で出来るようになりました。又、手術前の準備、手術後の看護、どのような薬を使われるか？ どのようなことに注意するべきか？ どのような変化で経過して行くか？ 又、内科外来では胆石の症状、胃炎の病状、その他学ぶ事が出来ましたが看護と言う技術は次から次へといるんな病例がありますので2年や3年の経験では習得することは、まず無理なことでしょう。私にとって1年半、2年の研修機関は短い様に思いますが、限られた期間で基礎的な物だけは日本で学んで、その後は自分の国へ帰ってから学ぶこととしたいと思います。

現在通学してる学校では正看護3年のコースですので、1年生との講義は看護に関する科的、看護技術、看護、解剖などを受けて、他は2年生と一緒に受けてきましたが、学校の先生が講義だけ受けるよりは実際に自分の目で見た方が良いのではないか言うことで、今年の3月から3年生と一緒に琉大付属病院で、2週間おきに実習を行なっています。第1回目の実習は外科実習を行ない、胆石の手術後の看護をやらせてもらいましたが、私のいる病院と違って看護婦さん達は専門用語でテキパキと自信をもって働いてるのを見てうらやましかった。又、2日間手術室を見学させてもらいました。なんとその設備の立派さには本当に驚きました。私には業務チームワークあり方などに勉強になりました。琉大付属病院での実習が終えたら、産科婦人科の病院、新里病院に移る事になりました。そして4月から産科学校に入学し、あと1年間頑張りたいと思います。

瀬戸ホルヘ

1年間のあいだに毎日新しい、経験がありましたので、簡単にいわれないと思いますけれど、今は日本の生活になれております。

ペルーから出た時に私はその時に知っていた日本語で日本で十分通じるものだと思いましたが、日本に着いたときほかの研究生ともはなしたかったが、みなさん日本語をべらべらはなしをするので私は声がでなくなるぐらいショックを受けました。

そこでこれではいけない、頑張らなくてはいけないと思いました。日本に来てからの一番大きな問題は日本語でした。今でも問題ですがまあとくらべれば当然ですがちがいます。

日本に着いて一番感じた事は、四季のうつりかわりがはっきりしていることです。たぶんこれは日本人の生活にも影響をしていると思います。四季の変化で景色も食べ物も服装も気持ちも変わりますからどんだん人間の精神面もすすんでいる感じがします。

日本人について一番感じた事は、がんばれの気持ちです。本当に、みんな年寄りから若い人までよく働くのを見て本当にびっくりしました。そして皆なとっても親切で正直です。もちろんそうじゃない人がいますが少ないです。

日本の習慣については、まだ昔からの習慣を守っている人もいますが、今は色々な国の習慣が入っておりますから、家庭によってちがっている様に思いました。もう一つ目立った事は、日本人はグループでいきていることです。そしてみなさんだいたい同じような生活をやっているように思えます。ですから他人よりより豊かな生活をするためにはものすごく頑張らないといけないと思います。

私は日本にきた時、最初、一生懸命日本というものをさがしてみましたが後できがつきましたのは、私が現在日本にいるのですからこれが日本のだと考えを変えました。たぶん、こんな考えは、皆さんにはわからないと思いますが私には思ったより日本は文化的には色々なものがミックスした国であると思います。たとえば外を歩いたら、いろんな形の建物が見えます。日本スタイルと外国スタイルそして日本人の服装も色々なスタイルが目にきます。そしてレストランも色々な国の料理があります。そしてパーティーに招待をされた時も、食べ物、飲み物、音楽もいろんな国のものがミックスされて楽しんでいます。家のデコレーションも色々ミックスされていますので、どれが本当の日本であるのか、さがすのは大変な事でした。

勉強については私は思ったより多くを学んでいますのでとてもうれしいです。私が今勉強している事は、ベルーでは出来なかった事を日本ではじめて勉強することになったため、最初はむずかしくてとても出来ないと思いました。大学で先生はじめ皆さんはとっても親切な方ですから今は非常に満足してやっております。

私は大学では9人の研修生と一緒にグループでした。はじめはみんな同じ仕事をやりましたが、私は国家試験をとっていませんので患者さんをもらうことは出来ません。そこで私だけ別のプログラムをやりました。

最初の半年は午前中に先生達の治療の見学をやり、午後には大学生の実習をやって、そのあと技巧室で練習をしました。また私は技術を習うためにグループとプライベートの授業をやりました。あとの半年は見学を減し、技巧室でもっと練習をやりました。そして最初の半年に習った技術の練習をするために最近になってやっと患者さんをもらいました。

そのほかにベルーに帰ったら日本で学んだ事をむこうで教えるために、ステップ模型をつくりました。また、大学のプログラムのほかに先生たちの勉強会にもてしております。この1年間のあいだに、たくさんさんの事をやりましたが、まだやりたい事はたくさんあります。あとの半年にもっと頑張りたいと思います。

合同研修会に参加して

有	田		淳
池	田		悟
永	橋	正	也
野	中	孝	之
松	本	伸	彦
山	内	京	美

合同研修会に参加して

有田 淳

日本での研修が決った時、僕はとてもうれしかった。そうして出発の日を楽しみにして待っていました。

小さい頃から日本の話をお父さんから聞かせてもらいまして、大きくなったら日本へ来たいと思っていました。けれど、僕の夢が実現して、横浜の移住センターにいた時、日本語がへたなことに気づいて、不安であって、人から話しかけられたらどんなに返事をすればいいかと考えて、最も自信がなくなりました。そんな事だけ考えて横浜での10日間が過ぎて、研修先の高知へ来ました。

最初の1ヶ月は授業を受けても何もわからないし友達もできなかったので、『日本に来たのは良かったけれど為になるだろうか?』と思った時もあった。けれども過ぎて行くと、日本語が大分わかり、みんなと付き合い始め、だんだんおもしろくなって来た。

この大学は寮生活である。そうして、一部屋に2人と一緒になり、部屋に入った時は何を話せばいいかと思いました。けれど自然と話し始めました。今、入学した当時の話をして見ると、友達も僕が外国から来た事を知って、『アッ、あの人外国から来たので日本語が通じるかな?』と思ったと言っていました。6ヶ月たってこんな話しをすると、笑い話になりました。

10回生の先輩達から最初の6ヶ月は辛くてとても長く感じると言いました。けれど、知らぬ間に過ぎました。

この6ヶ月の間の生活は、月曜日から土曜日までは、午前は授業で、午後は実習、野球部に入ったので、午後4時から日がくれるまでクラブ活動やっています。夜は、夕食して、風呂に入って更に勉強します。土曜日の午後から日曜日は自由であって、その間では、先生から農家へバイトに行かないかと言われて、僕も勉強になると行って行きました。けれど、良く考えて見て、勉強の方をすればいいかと思いました。時々、付き合いのために友達の家へ行って、日本人の生活を身につけたらいいかと思いました。

そんな暮しをして、半年を過ぎまして、楽しみにして、みんなの研修生達に会う日が来ました。

横浜で皆々と会って、半年の日本での生活はそれぞれ苦勞して来た。希望通り研修を受けてない人もいるし、生活費が足りない人もいます。けれど、一番感じたのは11回生のほとんどが日本語がわからないので苦勞しています。特別に大学で研修を受けてる僕達。

それから伊豆長岡の旅行はとても楽しかった。ただ、今まで歌うことがなかったので、パーティーの時に歌う自信がなかったし、曲もあまり知らなかった。だけど今から練習して、また来年みんなと会う時に歌うようになりたいと思います。

今までの研修生たちのように出来ないかもしれない。けれど、日本にいる間はできるだけ多くを学びたいと思います。

あと1年の研修は、この大学で最後まで勉強を続けたいと思います。そして、ブラジルへ帰って学んだことをブラジルの気候に合わせた農業として自分のものとしたいと考えています。

池田 悟

私はこの合同研修会を楽しみ、かつまた来日以来の体験を話す機会を期待しながら、この半年間努力し、勉強に励んできました。今度皆さんとお会いして、驚きました。皆さんとは半年前に初めて会った時と違って、社会的な言葉を使うようになり、すっかり日本の生活にも馴染み、自分の置かれた立場を十分自覚してきたことが伺われました。そこで私は皆さんに負けてはいられないと心に思いました。また10回生の皆さんとの会話の中で感じた事は、落ち着きと勇気、又は私達が色々な質問をすれば、確信をもって答えてくれたことに、僅か1年半の勉強でこんなまでに成長した事を目の前に見て、10回生の皆さんを尊敬すると同時に、自から勇気と希望が湧いてきました。

10回生との対話の中でお互いの体験談を聞いたり、述べたりしましたが、お互い一番に痛切に感じた事は漢字の読み書きと、漢字の意味が判らず、日常生活においての言葉の障害はさほど支障を感じないが、教課、実習などに書かれている漢字の判読に辞書と首引きの時が多く、ともすれば同級の青年達から2歩も3歩も遅れをとる場合があり、ある程度のハンディは覚悟しているとは言え、自分自身の負い目を情けなく思う時がありますが、日時の経過に伴い、実技も併行され、その実技の実習に自国での経験が多少なりとも生かされる時もあり、苦しい中にも楽しさも湧いております。残りの滞在期間のある限り、多くの事を学び身に付け、悔いのない研修生活をしたいと念じ、常々頑張っております。なお、来日して痛切に感じ、身を以て経験している事は、先に述べた漢字の判読で国に居る時、漢字の読み書きの機会が多少でもあったら、こんなにも勉強に不自由なくて、本質的に所期の目的に適進出来得るものと思われ、日常の勉学のいかに大切かと痛感しています。

10回生のお別れパーティを移住センターで催していただき、とても楽しい夜が過ごせましたことは、本当に良い思い出になりました。でも先輩達とお別れするのがちょっぴり悲しく感じましたが、ここで10回生の皆さんと、別れ切りになるのではなく、これから国へ帰っても折があれば、交際を続けていきたいと思います。なお私達に、希望と勇気を与えてくれた事を感謝し、残りの研修を意義あるものとして、日本の社会にとけこんで行く決意であります。

合同研修会が終わりまして、私達、11回生は、伊豆長岡へ旅行して、ホテル(千歳荘)に一泊しましたが、西山さんと吉田さんが面接を1人ずつ行いました。私にとって、面接が一番良かったと思っております。なぜならば、時々不安に思っていた事が話を聞いて心の迷いが拭ききれ、はっきり自分の進路を決める事が出来た事です。私が考えていた事は、医療器具関係と電話に関する技術の習得も必要だと思い、この機会を利用し、何とか実現出来ないものかと思っておりました。西山さんの

オリエンテーションのおかげで決心ができ、再び勇気と希望が湧いてきましたので、来年も今学んでいる電気工事の勉強をもっと深く習って行こうと思います。

本当に、こんな機会が無かったならば私はなにげなく、日本で一年半過ごすようになっていたかもしれません。西山さんには心から感謝しております。なお皆さんと2日間の生活は、とても楽しく、過ごせまして、とても良い思い出になり、又勉強にもなりましたので、来年ももっと楽しい有意義な研修会を期待しております。

これからは個人的な問題であり、先輩達が色々教えてくれた事を肝に銘じて頑張っていきたいと思えます。また次の機会に来日される12回生の皆さんに、先輩として期待される研修生になりたいと思えます。

永 橋 正 也

第11回移住者子弟技術研修生の1人としてこの4月に日本へ着き、まだ右も左も分からないまま皆さんと元気良く励まし合いながら、別れてから半年の研修が無事終わり事業団の方から合同研修会の通知を受けた時にはとても嬉しかった。日本へ着いた時に迎え入れて下さった10回生の先輩達を見送れる事と、11回生の皆さんがこの6ヶ月間にどの様な経験を積んで来たのか、又どれ程変わっている事がすごく楽しみでした。しかし東京へ行くと言う事では、4月に見たあの人の海を思い出し少し不安になり、高知で研修している野中君、有田君と連絡取ったところ、やはり僕達と同じ用に不安を感じると言うので岡山から一緒に行く事にしました。そして30日の日に8時半の新幹線で岡山を出て、東京へ着いたのは12時半頃でまだ早かったので4人で東京見物をする事になり、山手線に乗って上野、秋葉原、新宿の方へ行って、おそれていた東京も思ったほどでなく、又電車、地下鉄の線は便利良く出来ていてもう大体1人で行ける自信が付き、これだけでも今度の合同研修会に参加して大きな収穫です。

センターへは5時半頃に着き、もうほとんどの人が集まっていて皆さんとはたったの5日間くらいしか会っていない人達だけでもう昔からの友達の様迎え合いですごく感動しました。次の日は10回生、11回生の合同意見交換会が開かれ、まず10回生の先輩達からこの1年半の研修の上で色々経験し、感じた事をアドバイスの形で話してもらい、その後11回生の1人1人がこの6ヶ月の研修の間に出てきた問題点を上げました。僕は研修、そして生活の面でも別に問題はなく何も言う事はなかったけど、先輩達のアドバイスそして11回生の問題点を聞き、色々勉強になりすごくためになりました。

昼からは雨のため予定されていたソフトボール大会が出来なくて、そのかわりに映画を見ました。それから室内で出来る卓球大会をする事になり、僕は10回生でブラジルから来ている秋枝さんとダ

ブルスを組み、準々決勝まで行ったけど、おしくも3セットで破れ3位に終わりました。6時から10回生の送別会でパーティが開かれ、まず中島所長さんの挨拶そして乾杯をもって始まり、10時ごろまで歌ったり、踊ったり皆さんでにぎやかにやりました。それから部屋に帰ってからも10回生とは最後の夜だったので消灯の時間も気にせず1時ごろまでにぎやかにやっていました。

2日の日11回生は自由行動だったので、園芸学会から帰られる途中の研究室の先生と中国からの留学生とおち会って、4人で日本で古くから有名な植物園の新宿御苑を見学に行きました。この新宿御苑では、ハウス園芸をイギリスから取入れて日本で初めて栽培された所だそうです。それですすがにすごいハウスの施設があり、世界各国の植物が栽培されていてとてもいい見学になりました。

3日の朝には10回生の先輩達と又いつしかあの広い南米で会える事を期待して、元気良く別れて、11回生の僕達は西山さん、吉田さんと伊豆長岡への研修旅行に出かけました。センターを10時30分に出て伊豆長岡の温泉旅館へ着いたのは2時半頃で、すぐに各部屋に別れ、その日は一部の個人面接をする事になり、僕は外へ出てバッティングセンターなどへ行き帰ってきて、今まで夢にまで見ていた温泉へ入り、広い風呂の中でたっぷりつかり、何んとも言えない気持ちでした。その夜は皆さんで食事をして、その後8時頃まで歌ったり、踊ったりしてにぎやかにやっており、それから部屋に帰って、2次会に入り夜中の12時頃まで皆さんで楽しく過ごしました。

4日の日には、旅館を10時過ぎにバスでみかん狩りに出かけました。このみかん狩りでは木になっているみかんを食べ放題だったけど、まだ良く取れてなかったのであまり食べられなかった。それから場所をかえて東洋一のロープウェイに乗り、大展望公園に行き、ここで昼食にして、この公園を見学して回り、皆さんで写真を取りまくりました。しかしあの日本一高くてきれいで、世界でも有名、そしてめずらしい(国でも一番高く一番形が良くきれいな山と言う事で)、富士山が雲にかくれていて、先の方しか見れなかったのは心残りでした。

そして5日の日は、この合同研修会の反省会を行ない10時に現地解散になり、僕は東京の友達のところへ行き、次の日に岡山へ帰ってきました。

短い期間でしたけれど、この合同研修会に参加して11回生の仲を深められ、それに皆さんの意見を聞き、自分にはすごくプラスになりました。本当にこの研修旅行の事は僕の心の中にいい思い出として残る事でしょう。事業団の皆様には心からお礼申し上げます。

野 中 孝 之

待ちに待っていた合同研修会の通知が来た。早速、開いてみる「9月30日19時集合」との事、僕の顔が思わずゆるんだ。有田君、ついに来たぞ/彼もやはり同じ気持ちであった。皆なに会うのが何よりも楽しみであった。

校長の許可も得て準備も万全、さあ出発だ、一日早く高知を出て岡山で一泊、永橋達と合流して午前8時半の新幹線に乗る東京に午後1時に着く。まだ時間があったので東京を見物して18時半にセンターに到着。もうすでにほとんどのメンバーが見えていた。ざっくばらんに挨拶を済ます皆それほど変わってはいないがすごく太ってるのに驚いた。そういう自分も太っているけど…俺だけではなかったんだと思うと気が楽になる。翌日、ミーティングが行なわれた時、11回が10回生に対して質問をすることとなった。まず初めに僕が質問する事になり、後半期の研修場所とオートバイでの通学の件について話したところ、かなり皆な誤解された部分もあるようで悔しい。いや、あの問題をあの場所ですべきではなかったと後悔している。

不満点を述べたのは吉本君、後藤君、伊佐君、そして僕の4人だったかな、もっといたかも知れないけど……とにかくほとんどの人が多少なりとも不満を持っていると思う。金銭問題、研修の内容について等々、口に出して言えないだけ。

先輩の10回生のほとんどが研修に来て良かったと言われた。確かにそうだと思う。いかに苦しくとも過ぎれば楽しい思い出となり、楽しかった事はいつそう忘れられない思い出となる。現実はまだ半年しか経ってない僕だって来て良かったとつくづく思ってる。1日の夜10回生のお別れパーティーが行なわれた先輩達と別れるのは寂しいけど仕方がない、彼等はどんな思いを胸にそれぞれ帰って行ったんだろう。

2日は自由だったので、それぞれグループを作り東京や横浜に遊びに出る。東京はさすがにマンモス都市で、馴れていないので目的地へ仲間たどり着けない。一日中東京を歩いて疲れた。

10月3日、伊豆に向かう夕方、伊豆は長岡の千歳荘に着く。温泉ばかりの町だそうでのんびりした感じ、その夜生まれて初めて温泉につかった、夢にまで思っていた温泉。やっぱり日本はいい国だなあこんな温泉町で1ヶ月位、過ごしてみたい。その夜の食事のおいしかった事、好物のビールやウイスキーも飲み、何もかも忘れてみんなて歌を歌いバカを言い合いもう最高だった。

翌日、午前8時起床、すぐ朝食。10時よりミカン狩りに出発する。段々畑に植えられてるミカン。まだ時期的に早くてあまり甘くなかったミカン園の最上段に登っての眺めは素晴しかった。そこで記念撮影、その後ロープウェーで山の頂上に登り、また記念撮影そして各自持参の弁当を食べる。吉田さんがオニギリを1個くれたので腹いっぱいになった。その頂上からの眺めはこれまた素晴しかった「するがわん」をバックに写真を撮る。楽しみにしていた富士山がテッペンしか見えず残念だった。夕方、千歳荘に帰宿、夕食までの間、個人面接。1名に約20分かかるが、よく皆な不満やグチを聞いたもんだと思う、西山さんと吉田さんとで時間さえあれば行なっていた。実に立派だ、さぞ疲れになった事だろう。僕の場合、特に時間がかかった。でもやはり1対1での話し合い。詳しい事上も説明できるし、また理解もしていただいた。もちろんこっちの意見を簡単に認めてくれる訳はないでも僕の気持を少しでも分かって頂ければ十分である。

最後に、この5日間の合同研修で特に感じたのは、来た当時はカタコトしか日本語が話せなかった

連中がこの半年間で十分とは言えないけど話せる様になった事。実に感心した。まさに1日1語づつあるいはもっと多くの単語をマスターしている。従って当時のオドオドした感じはみじんもない堂々としている。

僕などその点、大して成長してない、でも日本を少しは理解できるようになった。今後の研修に本気で取り組みたい。おそらく誰もが同じ考えであっただろう。いずれにしろ、皆な少しは変わった、いや成長したと思う。

半年後の4月に再び、皆なに会うのがいっそう楽しみである。そして今度の12回生はどんな連中が来るのかも楽しみの一つである。担当の西山さん、関東支部の吉田さんともうちとけて仲よしくなったけれども又、担当が代わるという、せっかく知り合えたのにどうしてこういつも代わるのか理解に苦しむ。

以上が今回の合同研修での感想です。書いてある文を理解して頂ければ幸いです。

松 本 伸 彦

去る10月3日から予定されていた静岡への研修旅行も無事終了し、色々な面で沢山の思い出が出来、大変嬉しく思うとともに企画していただきました。皆様に大変感謝いたしております。

旅行第1日目は何とんでも新幹線に乗った事が強く印象に残っています。ボリヴィアでは夢に思っていた新幹線の旅。3人の仲間と子供のようにしゃべっていた東京までの7時間半は、あっという間に過ぎました。その速さにはただ驚くばかりでした。

横浜に着いて18人の仲間、多くの先輩の方々との半年ぶりの再会も楽しかった事の一つです。皆それぞれ夜遅くまでお互いの研修先や、研修状況、日本での新しい友達の話など語り合い、有意義に過ごす事ができました。

沢山の思い出の中でも何とんでも、事業団の方からしていただいたパーティーが最高の思い出になりました。

10月1日は、合同意見交換会、先輩からのアドバイス、午後からはソフトボールの予定でしたが雨で中止となり映画、卓球大会などが行われ、楽しい一日でした。

10月2日は、第10回生の終了式、11回生はフリーで僕らは横浜見学。

10月3日は、待ちに待った静岡県の伊豆長岡への旅行。10回生の先輩を見送った後出発。昼食は電車の中。1時頃到着し、旅館で一休みした後フリー。夜は温泉にゆっくりと入りそのためか、3日間の疲れも吹っ飛んだようでした。夜は懇親会。

10月4日は、10時半まで個人面接が行われ、それからみかん狩り。また収穫には早すぎるようです。1人300円も出して、2~3個しか食べなかったのが何んだか損をしたような気が

した。それから生まれて初めてロープウェイに乗りましたが落ちそうで大変不安でした。でも山の頂上から見る長岡の街並は富士山も見え、とてもすばらしかった。

ロープウェイや新幹線など向うにはない、乗り物に乗れ大変嬉しく思っております。できたらこのようなものに向こうの友達にも乗せてやりたいと思いました。

沢山の新しい事を見たり、体験しましたが、なかでもイルカやアザラシ、オットセイのショー、これらには強烈な印象を受けました。水族館を見るのさえ初めての僕にはどうやって、あの動物に「芸」を教え込むのか不思議でなりません。

それから旅館に戻り、面接の続きがありました。僕についてはポリヴィアでの事や日本での研修での事を聞かれましたが、僕の場合は日本の友達や先生方のおかげでそんなに困った事は無く思ったより早くすみました。

夜は、又大好きな宴会。

10月5日は、反省会が行なわれた後、現地にて解散。僕は東京のおじさんの家に行き、久しぶりにおじさんや、家族の人に会えて話しもはずみました。

10月6日は、長かった研修旅行も終り、研修先の長崎県大村市へ帰る。

現在、大村市農協で研修しております。この農協は、長崎県内でも大きい農協で、僕は今後とも経理課において一生懸命頑張っています。

山内京美

私達第11回技術研修生が自分の技術を学ぶため、日本全国へ散って、6ヶ月間の研修生活を終えて、去る9月30日より10月5日に渡って5日間の合同研修会が行なわれました。その日を研修生の誰もが楽しみに待っていた事だと思います。ここ沖縄で研修を受けている私は、淋しい時や辛い時は同じ研修生の皆なはどう言う日々を送っているのかと想うのでした。そして早く合同研修会が来ないかと願うばかりでした。やっとその日が近づいて、旅費や日程表が送られて来た時は、あと10日で皆なに会えるんだと思いつつ、夢の様な気がする時もありました。

出発の日、沖縄に台風が接近しているとの事で、風が強く東京への飛行機が飛び立つか心配していましたが、なんともなく無事横浜の国際協力事業団海外移住センターへ着き、同期生や先輩方と健康な姿で再会し、今までの研修生活を語り合い、又意見交換などをし、皆ながどのような生活を送っているかを知り、良い勉強となりました。

先輩方のお別れパーティ国際協力事業団の方々に催してもらいまして、おいしいごちそうをたくさんいただき、とても楽しいパーティでありましたが、ちょっぴり淋しいものでした。でも先輩方が国へ帰り、日本で学んだことを十分に発揮し活躍することを祈り、私も残る1年を精一杯頑張ってい

こうと思いました。

それから私達11回生は伊豆への研修旅行を期待に胸をふくらませながら電車に乗り、皆で駅弁を食べ、景色を見ながらワイワイしている内に電車は伊豆へ近づいていました。伊豆へ着くと静かな所で、勉強や実習などで疲れている皆なを身も心も休ませてくれる様な場所に私は思いました。初めての温泉旅館で温泉風呂に入り、又楽しい食事会、ゲーム、卓球などし、又みかん狩りちよっとすっばくて残念でしたが、この2日間の旅行がとても楽しく、又皆なの以外面を発見でき、私自身色々新しい事を体験できとてもすばらしい合同研修会でありました。

日 本 の 印 象

鈴 木 俊 一
後 藤 真 吾
野 中 孝 之
矢 野 真 次
山 内 京 美
吉 元 美 貴 子

日 本 の 印 象

鈴 木 俊 一

日本をはなれて17年ぶりに、今帰りつく事が出来たのは事業団の移住者子弟研修生として運良く選ばれて来る事が出来たからです。ブラジルを出る時、現地の事業団の皆さん又は先輩の皆さんに、日本の四季の美しさ、そして文化の発展など色々な事を話し聞かされ、何かとまどいながらも飛行機に乗りこんで来た次第である。

成田空港に着く前に空の上から見た日本は思いのほか、緑が多く街と語り姿が目につかずに降りてしまった。成田から横浜のセンターまでの道筋に、まわりを見てみると家から家、大きな建物がつづき、農家のすがたはひとつも目につかず、さすがに近代国だなと思いました。そして次の月曜日からは東京、鎌倉、三溪園と日本でも重要文化財にかかわる建物の見学につれて行ってもらいました。

今私が思うには、このような建物、庭園などを見て見ると、その多くの物がふかかれてる地形に応じての建てかたをされている。まず三溪園では外まわりと庭園の内とのつりあいを良くとのえた物になっていた。そうした中でも内庭ほどの角度からの眺めでも美しい物の立ちならびを見る事が出来ました。又鎌倉と東京のお寺または神社も同じ日本の物でありながら、いくぶんの違いを何か感じた様にも思いました。ただどの建物にしてもその作りかたの素晴しさには驚かされる思いです。日本人とはいろんな面で古い時代のもを大切にする習慣を大事にして生きている人が多い様である。そのような面はブラジルで育った自分には、今までわからない事でありました。あとは日本人の時間に対する考えと言うものは、駅の電車にしても10秒と違わずに行き来をしてくる。そしてあとは自動販売機の色々な数の多い事、そしてその便利さなど、本当に今はどれをとっても初めての事なので驚く事ばかりです。

これから一年半の間、生活をこの日本ですごすにつき、できるだけ自分の力を出して、ひとつひとつを大事に覚えてゆきたいと思います。

後 藤 真 吾

私はレンシーフェ、ブラジルから選ばれてきました。20年前父母につれられ、ブラジルに4才の時に、移住しました。

小さい時に日本を出たので、日本の事は全然覚えていません。ときどきに父母に話しをしてもらいました。日本に来た人からも時々僕が生れた所の事を話ししてもらいました。でも話しの日本ときてみた日本は少しの違いがありました。日本と言われている国は、発達していて自然な景色はないと思っていました。でもきてみたら木と山がまだ沢山のこっているのが安心しました。

日本に着いて一番先に感じたものは、日本の気候でした。ブラジルのレンシーフェの暑さになれてい

るので日本は寒いのであります。今は随分なれてきました。

この8日間この研修センターで色々な所を見学につれていってもらいました。

4月7日に鎌倉に遊びに行きました。桜の花が咲いていたのでごくきれいでした。鎌倉の建て物をみていると日本はずいぶん古い国だと思いました。

横浜の三溪園とスケートリンクに行きました。三溪園は鎌倉にいてきれいなどころでした。スケートしたのははじめてでうまくすべれなくてこけました。でもすごく楽しかった。

日本語の読み書きが良くできませんが、これから日本語と僕の研修目的を勉強して頑張ります。

野 中 孝 之

一口にレポートと言っても文章の下手な僕にとってどう書いたらいいのか、どこから始めたらいいのか見当がつかない次第ですが、とりあえず印象を少し述べさせて、いただきたいと思います。先ず成田に着いてこの移住センターに来る道中感じたのは風景ですね、きれいに管理された田畑、そして土地の起伏を見てやっぱり日本だな、と感じとうとう祖国に来たんだと思ったがまだ実感としては、つかめなかった。数日後に観光として東京や鎌倉に行って初めて実感が現実として湧いて来た。日本は想像していた以上に素晴らしい、やはり世界一の先進国である。大抵の者は自動販売機で買えるし、その性能の良さにただただ感嘆しています。そして毎日の出来事一つ一つを取ってみても、僕にとって初めての体験ばかりです。田舎で育った僕には日本はあまりにも進みすぎている。いささかついて行きかねるんですが、そこはそれなりに半年、1年を過ぎたら少しは慣れるでしょう。それに僕の研修先は比較的、田舎だそうですから何とかなるでしょう。東京には住みたくない。そうあんな所に3日と続けていれば僕の脳波は狂っちゃう、でも確かに東京はすごい、今まで見てきた南米のどこの国の都会よりも受けた印象は大です。そして一つ、東京の中で考えてもいなかったし信じられなかったのが、4月9日の東京見物の日、観光バスで回ったコースの一つ明治神宮の森です。こんな所が東京のど真中にもあったのかと驚いたものです。その他のコースなどは本や映画などで多少知っていたので、それほど驚きはなかったが、しかしそのスケールの大きさは想像を絶しました。それとはまったく対照的なのは鎌倉でしたが、東京とはちがう静けさの中をやはり観光バスで数多くある寺や神社のほんの一部を回った訳ですが、特に長谷寺にある観音さまと高德院の大仏を目の前にし、ただただ感動し何かしらこみあげてきたものです。釈迦御誕生後、3,000年近くなると思いますが、その長い歴史も僕の心のタイムマシーンによって一瞬のうち時間空間を通り越し、釈迦自身に会って来た様な気持でした。そして奇蹟の寺の日蓮上人とか源氏一族、源頼朝、そして鎌倉宮の皇子が幽閉されていた土牢にかり、いづれにしてもその偉人達が、苦難を乗り越えてたどって来た偉業に思わず手を合わせる自分でありました。

前後入れ違いになりましたが、4月8日に三溪園に所長さん一行と花見に行った時のあの桜の美しさといったら何んとも言えなかった。素晴らしい、やはり日本の国花だと思い、そしてその桜の満開期に日本に来れた事にありがたく感謝しました。

以上が僕に与えた印象ですが、今後その第一印象をプラスとして1年半の研修に望みたいと思っています。

矢野真次

1981年4月1日、私は第11回移住者・技術生として、パラグアイ国、国際空港より一路母国である。日本へと期待と不安をだいて、飛び立ったのです。途中リオ、リマ、ロスとにより今期研修生と顔を合せ無事日本国際空港成田に着きました。幼い時、母国をはなれて丁度20年ぶりの日本でした。空港では私のおばさんが出迎えていた。事業団では、伊藤さんと言う方が出迎えに来ており、研修生一同ホットする。私達はすぐに横浜移住センターへと向う、途中桜の花と日本女性の着物姿が印象的だった。

空からの日本は平な様でしたが、おりて見れば小さな山が多い所だった、又平な所はすべて田、又は畑になっていてあいている所はない様でした。東京湾を横に見ながら走る車の中で伊藤さんのガイドによれば、東京湾は、燃えないゴミをあつめて均し、除々に大きくして行き、今では、ゴミの上に大工場、住宅、体育場などができているとの事でした。見る物、聞く事すべて進んでいて、南米パラグアイと比べる事が出来なかった。横浜に入ると、あちらこちらに桜の花が咲いていて一同歓声をあげる。私は、どちらかと言うと桜もいいが日本の着物スタイルの女性に目がむく。根岸に入ると、桜並木が一段と美しく咲いていた。

では移住センターでの1週間の事をまとめます。4月4日、土曜日午後事業団の人達と昼食をする、場所は、センターより300メートル位離れた所の料理屋だった、ここで又20年ぶりの畳じきでの食事だった。

4月6日、事業団本部及び外務省に表敬回り、事業団本部は新宿にあり55階建てである。私達は45階にある移住課に行き、部長、課長さん達と昼食をする、45階から見る東京は、生物みたくて下で吠えている様だった。

センターへ帰り道、皆んなでパチンコ屋に入る

4月7日、日本に来て以来初めて太陽が見える。9時30分より鎌倉、江ノ島観光に行く、鎌倉の桜は4分咲きだったが午後より満開になる。花の一生は、みじかいと言うが桜の花も長くて1週間だとのことだ。特に印象的だったのは、800年の歴史を持つ八幡宮の建物と鎌倉のメインストリート若宮大路の2の鳥居から3の鳥居にかけて一段高い桜並木(段葛)というそう。段葛について、こ

の桜並木は寿永元年（1182年）源頼朝公が妻政子の安産祈願のため造った参詣道だそうだ。私達は幸に段葛に行く花嫁姿を見る事が出来た後に江ノ島水族館へ行く、イルカ、クジラの舞踊りを見てセンターへと帰る。

4月8日、午後より三溪園に桜の花見に行く、三溪園のあらまし、面積19万平方メートル、開園明治39年5月、重要文化財建造物9棟、古建築物5棟、特に印象的だったのは旧燈明寺、三重の塔だった。池にはコイがおよいでおり町の人達には良いこいの場のような感じだった。

4月9日、午後東神奈川へ行きスケートに乗ってみる。初めての氷の上ではころんばかりいた早く言えば、オンリですべていたのだ。研修生の中には早くなれる人もいたが、それでも皆な3時間もたてばうまく、すべれる様になった。

4月10日、東京見学に行く。新宿、原宿、六本木はビルディングのジャングルみたいな気がして、うんざりして来た。しかし、東京タワーに登り一時ホットする。下の方では、車の群れが小さなアリの様でした。残念な事に雨のため遠くが見えなかった。後に靖国神社にお参りをする。東京にもこんな緑のある所があるとは思ってもよらなかった。

この一週間無事に鎌倉ならびに一度に数多くの神様にお参り出来ました事を心からお礼申し上げます。国際協力事業団の皆様方ありがとうございました。

山内京美

私が家族やお友達の皆さんに見送られ、ポリビア国サンタクルース市を出発して以来、ペルー、リマ、ロスアンゼルスを回り、日本国成田空港に着き、8日たちました。この8日の間に日本国がいかにも勝れた国である事を知らされました。ここへ来る前、テレビや又沢山の人達から話を聞いてはいましたが、自分が想像していた以上に進んでいる事にびっくりしました。町に立っているビル、乗り物、品物、みんな勝れた物ばかりで、いったいどこからこの様に素晴らしい物が生れて来るのか、いくら考えても思いつきません。又人口の多い事、その人々がそれぞれ自分の事に一生懸命生きているように思います。ポリビア国で育った私は、ここ日本へ来て、今からどの様な事に出会い、又どこまで、この日本の勝れた技術や知識について行き、学び取る事ができるのか、自分でも思いつきません。この8日間いろんな所を見物させてもらい、おかげさまでとても良い勉強となりました。生まれて初めて見た海、そして自然の物と思えないほどきれいに咲いてる桜の花、行く所どこも初めて見る物ばかりで、それがみんな、私達を感激させる物で、とても夢の世界にいるみたいです。

吉元 美貴子

昭和56年4月3日に初めて日本の土を踏みました。でも、何とも感じなかったと言えば信じて下さるのでしょうか。4月1日にドミニカを発って、長い一人旅だったけど、さびしかったとは思いません。しかし、5日間がすぎて、やっぱり少しさびしくなりました。ドミニカのサント・ドミンゴ大学へ行きたくなったりして、ドミニカの事が気になって来ます。

日本に来て初めての夜は、先輩達とギャーギャー騒いで、皆様がいい人達で本当にうれしかった。私は、父母に幼い時から、日本の事を聞かされ、いつか行って見たいといつも思っていました。やっと来れたと言うのに、ちょっと悲しかったわ、日本人の考え方が違って、特に若者の、それに日本人はいつも忙しそうに生きるために仕事をするのではなく、ただ仕事をするために生きている見たいでそのせいか、とても冷たく感じます。ますます機械人間になって来る感じです。私は、一生懸命に仕事をやることに反対している訳ではありません。ただ自分で自分を失うようなやり方はイヤだと思えます。出来れば一生懸命頑張ってドミニカの日本人移住者の役に立つ人間になって皆々と頑張って年寄りを安心させて、もっと良い生活が出来ればどんなにいいか。せめて皆々が日本語の勉強だけでも出来たらいいのに、でもスペイン語もよく話せない、日本語もよくわからない人が多くて、とってもかわいそうで何かしてやりたい。

桜の花を見ながらドミニカの事を思い出すと少し悲しくなるけど、また、花を見るととってもいい気持ちになります。

やっぱり桜の花は、とってもきれいで母が言っていたように何年たっても、いつもきれいに咲く様でうれしかった。

日本では、花は一度に沢山咲くので、はじめは本当の花ではないと思っていました。あんなにきれいで沢山花が咲いているのを初めて見ました。ドミニカでは春になっても日本みたいに、あんなに花は咲きません。出来れば皆々に日本の素晴らしい春を見せてやりたい、どんなに喜ぶのでしょうか、いつか皆々が日本の春を写真で見るとは、本人が来て見る事が出来るように皆々と頑張りたいと思っています。

子弟研修生一覽表

第11回移住者子弟技術研修生

研修機関(後期)一覧表

支 部	地 区	氏 名	性別	年齢	国 籍	本籍地	研修職種	研 修 機 関	〒	所 在 地	代表者名	TEL
リオ・デ・ジャネイロ	セーラ・ド・カッピン	有田 淳シユル	男	20	日 本	愛媛	近郊農業農協運営	高知県立実践農業大学校	781-21	高知県吾川郡伊野町波川234	立田 好次	08889-2-3000
ベレーン	ベレーン	池田 悟 アルマンド	男	24	ブラジル	(福岡)	電 気	三井アルミ工業(株) 三池事業所	836	福岡県大牟田市四山町80	苔口富士夫	0944-53-3591
	タバナン	大西 ジュゼ	男	20	ブラジル	(宮崎)	食品加工	東洋食品工業短期大学	666	兵庫県川西市南花屋敷 4-23-2	高崎 芳郎	0727-59-4221
レシフェ	レシフェ	後藤 真吾	男	24	日 本	大分	強 電	昭和電気	336	埼玉県浦和市白幡3-11-9	片山 樹	0488-62-1639
サン・パウロ	グァタバラ	鈴木 俊一	男	25	ブラジル	(茨城)	果 樹	農林水産省果樹試験場 興津支場	424-02	静岡県清水市興津中町	西浦 昌男	0543-69-2111
	アチバイヤ	仲セルジオ隆幸	男	18	ブラジル	(北海道)	養 鶏	豊橋飼料(株) 新城養鶏試験場	441-13	愛知県東新城市川田字本宮1	平野 賢治	05362-3-2551
	サンタナー・ド・イアラレー	石東寅雄 ウィルソン	男	18	ブラジル	(京都)	畜産・園芸	国際農友会	100	東京都千代田区有楽町1-13 -2 農林中央金庫ビル	斉藤 誠	03-212-0461
ブエノス・アイレス	ウルキツサ	永橋 正也	男	20	日 本	高知	花卉(カーネーション)	農業組合法人香花園	761-16	香川県香川郡塩江町 大字安原下558	真鍋 行雄	08789-7-0478
	ブルサコ	伊佐ラウル・エドワルド	男	21	アルゼンティン	(沖縄)	花 卉		673-05	兵庫県三木市志染町戸田104	馬勝 敏博	07948-7-3958
アスンシオン	アルト・パラナ	矢野 真次	男	27	日 本	福岡	果 樹	愛媛県果樹試験場	790	愛媛県松山市下伊台町1618	山口 勝市	0899-77-2100
	フラム	野中 孝之	男	23	日 本	高知	果 樹	高知県立実践農業大学校	781-21	高知県吾川郡伊野町波川234	立田 好次	08889-2-3000
	イグアスー	関 節己	男	23	パラグアイ	(群馬)	養 鶏	(株)都丸孵化場	371	前橋市総社町総社2788	都丸 俊一	0272-51-1781
サンタ・クルス	オキナワ	山内 京美	女	23	日 本	沖縄	看護婦	沖縄県立浦添看護学校 大洪第一病院	901-21 902	沖縄県浦添市字当山422 " 那覇市安里1-7-3	大洪 六栄	0988-77-7747 0988-66-5171
	オキナワ	井上 悦子	女	20	日 本	沖縄	"	沖縄県立浦添看護学校 宜野湾胃腸科病院	901-21 902	沖縄県浦添市字当山422 " " 真栄原290	大洪 六栄 當間 恵三	0988-77-7747 09889-2-5281
	サンファン	松本 伸彦	男	21	日 本	長崎	農協経理	大村市農業協同組合	856	長崎県大村市杭出津1-863-1	山口 義範	09575-3-6161
サント・ドミンゴ	サント・ドミンゴ	吉元 美貴子	女	18	ドミニカ	(鹿児島)	食品加工	東京農業大学(栄養学科)	156	東京都世田谷区桜丘1-1-1	鈴木 隆雄	03-420-2131 (内434)
リマ	リマ	瀬戸 ホルヘ	男	24	ペルー	(広島)	歯科技工	東京医科歯科大学 第2歯科補綴学教室	113	東京都文京区湯島1-5-45	吉田 久	03-813-6111 (内5240)

第10回 移住者子弟技術研修生

研修機関(後期)一覧表

支 部	地 区	氏 名	年 令	本籍地	研修職種	研修機関名
リオ・デ・ ジャネイロ	フンシャル	山 口 哲	23	長 崎	蔬菜栽培 ・経営	農家実習
サンパウロ	ロンドリーナ	村 上 竹 男	28	福 岡	養 蚕	国際農友会
	イビウーナ	清 水 信 良	18	東 京	果 樹 (リンゴ)	長野県農業総合試験場
	バルゼアアレグレ	秋 枝 修	21	山 口	電 気	㈱トミナガ電機
ベレーン	エフイゼニオ サーレス	木 場 孝 一	31	鹿 児 島	農協経理 農業機械	西合志町農業協同組合
	トレゼ・デ・ セテンプロ	黒 田 孝 一	27	熊 本	蔬菜果樹 ・病 理	熊本県農業試験場園芸支場
	第2トメアスー	矢 内 長 徳	23	青 森	重機整備	キャタピラー三菱機西奥支社
ブエノス アイレス	ガルアベー	松之下ロベルト	22	鹿 児 島	果樹(桃 ・みかん)	沖縄県農業試験場名護支場
アスンシオン	アルトパラナ	渡 辺 信 夫	25	広 島	レントゲン 検査技術	桜橋渡辺病院
	フ ラ ム	榎 本 義 生	27	和 歌 山	牧畜・土 壌 保 全	農家実習
	イ グ ア ス	佐々木 信 孝	21	岩 手	畜 産 (肉牛)	岩手県畜産試験場
サンタクルス	サンファン	野 坂 カオル	24	長 崎	臨床検査 技 術	望月産婦人科医院
	"	水 島 琢 磨	21	岡 山	養 鶏・ 雛 鑑 別	㈱初岡孵卵場
	オ キ ナ ワ	幸 地 悦 子	20	沖 縄	農協簿記	東京農業大学農学部 農業経済学科
リ マ	リ マ	秋 山 ファン	26	ペルー	自 動 車 整 備	千葉トヨタ自動車㈱

郵便番号	所 在 地	代 表 者 名	電 話 番 号
835	福岡県山門郡瀬高町大字文広583	井 上 善 夫	09466-2-3632
382	長野県須坂市大字小河原492	浜 島 直 己	02624-6-2411
751	山口県下関市赤間町3-41 アサヒビル	本 幡 昌 義	0832-23-1381
861-11	熊本県菊池郡西合志町野々島4793	上 田 幸 則	09624-2-1163
862	熊本県熊本市尾の上1-39-5 森義博方	森 義 博	0963-81-3040
192	八王子市大和田町1-8-22 キャタピラー三菱機八王子寮	堀 米 貞 一	0426-42-4637
905	沖縄県名護市名護4605-3	比 嘉 武 吉	09805-2-2811
530	大阪市北区梅田2-4-32	渡 辺 修 治	06-341-8651
078-17	北海道十勝郡上川町旭ヶ丘	阪 本 辰 男	01658-2-1982
020-01	岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢第20地割 字砂込390	瀧 向 正 四 郎	0196-88-4326
410	静岡県沼津市共栄町7-2	望 月 良 夫	0559-22-0800
719-32	岡山県真庭郡久世町大字富尾755	初 岡 太 郎	08674-2-0616
156	世田谷区桜丘1-1-1	鈴 木 隆 雄	03-420-2131
260	千葉市登戸町2-140	鳥 海 一 郎	0472-41-8111

第9回移住者子弟技術研修

支部	地区	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名	郵便番号
サンパウロ	グアタバラ	大津 敏一	21	茨城	養蚕	(株)愛鶏園の玉子	311-34
	イビウーナ	林ルイス伸明	19	(高知)	植物病理	高知県立農業大学校	781-21
	ピリチーパ・ミリン	菅野 弘	23	福島	TV修理	東京芝浦電気株式会社	221
ベレーン	グアマ	吉野 ベドロ 譲	20	(宮崎)	農業機械	都城農業協同組合 中央農機具整備センター	885
	ポルト・ヴェリョ	須藤 グロリア	23	(福島)	生活改善	福島緑ヶ丘学園 福島トレスメーカー専門学校	960
リオ・デ・ジャネイロ	フンシャル	小松 滋	24	北海道	果樹	沖縄県立 農業試験場名護支場	905
ポルト・アレグレ	ベロッタス	横山 隆	32	北海道	畜産	熊本県立農業大学校付属 畜産高等研修所	869-23
アスンシオン	イグアスー	上田 時江	26	広島	助産婦	社会福祉法人 聖霊会聖霊病院	466
	"	菅野 忠	26	秋田	養鶏	(株)後藤解卵場	500-91
	アルトバジナ	村尾 健朗	24	鹿児島	機械修理	(株)MSK東急機械	362
	フラム	松尾 あけみ	21	(高知)	看護婦	土佐准看護学院	780
ブエノス・アイレス	ポンテ・ベドラー	重永 智平	26	山口	バラ栽培	横山バラ園	254
サンタ・クルス	オキナワ	長嶺 マリオ	22	(沖縄)	電気	(有)北越工業	157
	"	具志堅 るり子	20	(沖縄)	看護婦	社団法人那覇地区医師会 那覇高等看護専修学校	900
	サンファン	米倉 美智也	22	長崎	旋盤溶接	長崎金属工業協同組合 (有)秀工社	854
	"	深浦 伸明	23	長崎	養鶏	福岡県立農業試験場	818
リマ	リマ	森崎 エリザベス	19	-	花卉園芸	(農家実習)	257
	"	丸山 ロベルト	24	-	車輛整備	(株)ナガセ	860

生研修期間(後期)一覧表

所在地	帰国後の連絡先
茨城県東茨城郡小川町千楽1050	CEP 14100 Caixa Postal 1337 Ribeirao Preto Estado de Sao Paulo BRASIL
高知県吾川郡伊野町波川234	A/C C.A.C. COOP 1130 CEP 18140 Ibiuna Estado de Sao Paulo BRASIL
横浜市神奈川区新子安2-14-10 東芝新子安寮	CEP 08700 Caixa Postal 153 B.Centro Mogi das Cruzes Estado de Sao Paulo BRASIL
那城市都北町5710	CEP 66000 Trav Maurite № 3515 Bairro do Marco Belem Para BRASIL
福島市山居上3	CEP 78900 Caixa Postal 237 Porto Velho Rondonia BRASIL
名護市名護4605-3	CEP 28680 Caixa Postal 54 Fazen Funchal C choeirias de Macacu Estado do Rio de Janeiro BRASIL
熊本県阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦1454	CEP 96100 Caixa Postal 383 Perotas Estado do Rio Grande do Sul BRASIL
名古屋市昭和区川名山町56	Caixa Postal 153 Foz do Yguazu Estado do Parana BRASIL
岐阜市西野町7丁目	Casilla de Correo № 2036 Cerro Cora 1114 Asuncion PARAGUAY
上尾市平塚字塚越2384-1	Casilla de Correo № 64 Encarnacion PARAGUAY
高知市山端町7 細木病院内	Casilla de Correo № 38 Encarnacion PARAGUAY
塚市田村3053	Casilla 45 Oeste Av. Corrientes 4062 Buenos Aires ARGENTINA
東京都世田谷区北烏山9-23-14	Casilla № 590 Santa Cruz BOLIVIA
那覇市東町26の1	Casilla № 582 Colonia № 1 Santa Cruz BOLIVIA
諫早市具津町工場団地	Casill № 464 Santa Cruz BOLIVIA
筑紫野市大字上古賀232	Casilla № 464 Santa Cruz BOLIVIA
秦野市下大規1304	General Garzon 2344 Jesus Maria Lima PERU
熊本市世安町361	Jiron Pastaza № 764 Interior 101 Brena Lima PERU

第8回移住者子弟技術

研修生研修機関一覧表

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修機関	研修機関名	郵便番号	所在地 / 帰国後の連絡先	
リオ・デ・ジャネイロ	フンシヤール	今村真一	22	福岡	畜産	福岡県種鶏場	818-01	福岡県筑紫郡太宰府町大字太宰府 / CEP 28680, Caixa Postal No.21, Fazenda Funchal, Cachoeiras de Macaco, Est. do Rio de Janeiro Brasil
サンパウロ	サンパウロ	林田秀房	23	(熊本)	油圧技術	太陽鉄工機	533	大阪府大阪市東淀川区北江口町48番地 / CEP 04130, Av. Camilo Castelo Branco No.54, Vila Gumercindo, Sao Paulo Capital, Brasil
	サンパウロ	百合正夫	27	(愛媛)	果樹園芸	長野県農業総合試験場	382	群馬県須坂市大字小河原492 / CEP 18190, Rua José Braga Sobrinho No.157, Pilar do Sul, Est. de Sao Paulo, Brasil
	クリチーバ	高橋アリ富	25	(福島)	養魚孵化	石川県増殖試験場	926-02	石川県鹿島郡能登島町字曲 / CEP 86280, Caixa Postal No.147, Uraí, Est. do Paraná, Brasil
	モジ・ダス・クルーゼス	田中勝彦	22	香川	食用作物	熊本県農業試験場園芸支場	861-11	熊本県菊池郡西合志町須屋2450 / CPE 08700, Caixa Postal No.1, Mogi das Cruzes, Est. de Sao Paulo, Brasil
ベレーン	マナオス	高野裕弥	25	北海道	自動車修理	苫小牧専修職業訓練校	053	北海道苫小牧市日吉町3丁目4番の1 / Av. Tarumã No.422, Manaus, Est. do Amazonas, Brasil
	グアマ	横山富貴子	22	宮崎	生活改善	日本高等国民学校	319-03	茨城県東茨城郡内原町1497 / No.3515, Bairro Niarcos, Belem, Para, Brasil
ポルト・アレグレ	イタブアン	道田藤吉	20	熊本	果樹園芸	熊本県果樹試験場	869-05	熊本県上益城郡松橋町豊福2566 / CEP 90000 a/c Comercial Agricola Semeagro Ltd. No.425, Rua Vitor Valpirio, Bairro Anchieta Porto Alegre, Est. do Rio Grande do Sul, Brasil
	ラーモス	岩崎正基	22	山口	果樹園芸	岡山県農業試験場	709-08	岡山県赤松郡山陽町神田沖1174-1 / CEP 89520, Caixa Postal No.161, Curitiba, Est. de Santa Catarina, Brasil
アスンシオン	アマンバイ	中島義明	29	熊本	農業機械	神奈川県立農業大学校	243-04	神奈川県海老名市杉久保2006 / a/c Coop. Amambay, Caixa Postal No.128, Ponta Pora, Est. de Matto Grosso do Sul, Brasil
	フラム	松岡健	18	高知	農協運営	福岡県農業協同組合講習所	813	1県福岡市東区大字名島2751-38 / a/c Cooperativa La Paz, Casilla de Correo No.4, Encarnación, Paraguay
	アルト・バラナ	石原由起	17	(兵庫)	医療	聖ヨゼフ病院准看護学院	238	神奈川県横須賀市緑が丘28番地 / a/c Agencia de Cooperación Internacional del Japon, Casilla de Correo No.38, Encarnación, Paraguay
ブエノス・アイレス	ガルアベ	山田陽二	29	広島	花卉園芸	赤塚植物園	514-22	三重県津市高野尾町1868の3 / Colonia Lujan Garuhape, Provincia de Misiones, Argentina
サンタ・クルス	サンフアン	近藤勇	18	(新潟)	畜産	農林省十勝種畜牧場	085-05	北海道河東郡音更町字中音更 / Casilla de Correo No.464, Colonia San Juan, Santa Cruz, Bolivia
	サンフアン	山口政雄	19	長崎	農業機械	長崎高等職業訓練校	859-06	長崎県西彼杵郡長与町高田郷 / Casilla de Correo No.464, Santa Cruz, Bolivia
	オキナワ第1	具志堅進	22	(沖縄)	農業機械	具志川専修職業訓練校	904-22	沖縄県具志川市字兼箇段1945番地 / Colonia Okinwa, Casilla de Correo No.582, Santa Cruz, Bolivia
	オキナワ第3	中村安栄	24	沖縄	電気工事	具志川専修職業訓練校	904-22	沖縄県具志川市字兼箇段1945番地 / Casilla de Correo No.262, Santa Cruz, Bolivia

第7回移住者子弟技術研修生

研修機関一覧表(後期)

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名	郵便番号	所在地	代表者名	電話番号
リオ・デ・ジャネイロ	バルバセーナ	市来清文	27 宮崎	花卉園芸	美香園	732-22	広島県佐伯郡大柿町大原	長坂五郎	082357-2204
サンパウロ	ロンドリーナ	高橋昇ジュリオ	27 (北海道)	養蚕	群馬県蚕業試験場	371	群馬県前橋市総社町総社 2326-2	岡部光波	0272-51-5145
	イタベチ	土生誠一	26 宮城	花卉園芸	株式会社小池硝子店	989-02	宮城県白石市字沢目 6番	小池宗次	02242-6-2376
	サンパウロ	樋口寛	26 熊本	建築施工	戸田建設株式会社	104	東京都中央区京橋 1丁目3番地 新八重州ビル	戸田順之助	03-562-6111
	"	服部ロウレンソ	23 (秋田)	電話交換機工事	日本通信建設株式会社	108	東京都港区高輪 3丁目23番14号	津重正	03-447-2111
	スザノ	上西川原 猛	29 鹿児島	自動車修理	千葉トヨタ自動車株式会社	280	千葉県千葉市登戸町 2丁目140番地	鳥海一郎	0472-41-8111
ベレーン	サンタ・イザベル	三宅正剛	24 長崎	自動車修理	長崎県交通局中央自動車整備工場	854	長崎県諫早市貝津町 1481	平井寛	09572-6-1642
	ボルト・ベリヨ	服部元	26 東京	農協経理	熊本県信用農業協同組合連合会	860	熊本県熊本市南千反畑町 2番3号	吉永淳	0963-55-6345
レシフェ	サルバドール	平田繁実	22 長野	電気工事	有限会社 梅本電設	860	熊本県熊本市清水町万石 6番地	梅本明助	0963-44-2323
アスンシオン	エンカルナシオン	荒瀬文彦	24 広島	食油精製	日清製油株式会社	235	神奈川県横浜市磯子区新森町 1番地	大島政志	045-751-1281
	ラ・コルメナ	三井昭	30 (長野)	果樹園芸	功刀幹治(方)	400-02	山梨県中巨摩郡白根町西野 2854	功刀幹治	05528-2-2557
	イグアス	佐藤満	21 岩手	農協経理	住田農業協同組合	029-24	岩手県気仙郡住田町下有住字十文字	佐藤博	01924-8-2311
ブエノス・アイレス	ウルキツサ	西田克己	25 長崎	花卉園芸	藤田侃司(方)	673-02	兵庫県神戸市垂水区平野町福中 147	藤田侃司	078-961-2101
	ヘネラルパチエコ	光田友宏	25 (愛媛)	花卉園芸	永田洋蘭園	472	愛知県知立市牛田町芋堀 1番地	永田一策	0566-81-0041
サンタ・クルス	サンフアン	上野克之	22 長崎	養鶏	石田鉄工株式会社	498	三重県桑名郡木曾岬町東見入	石田昭三	05676-5-1155
	"	川上啓介	20 長崎	畜産	農林省十勝種畜牧場	080-05	北海道河東郡音更町字中音更	中園信善	015597-31-2
	オキナワ第1	安里 マルヒロ	21 沖縄	養鶏	沖縄県家畜衛生試験場	902	沖縄県那覇市古波蔵 112	上里宣治	0988-32-1515
サント・ドミンゴ	レモンデ・ジウナ	川代康夫	24 北海道	畜産	農林省十勝種畜牧場	080-05	北海道河東郡音更町字中音更	中園信善	015597-31-2

第6回移住者子弟技術

研修生研修機関一覧表(後期)

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修職種	研修機関名	郵便番号	所在地	代表者名	電話番号	
(リオ・デ・ジャネイロ)	イタグアイ	島山幸枝	26	(石川)	生活改善	宮城ドレスメーカー専門学校	980	宮城県仙台市春日町9番10号	菅野貞子	0222-22-5221
(サンパウロ)	モン・ダス・クルーゼ	米村隆一	20	(熊本)	花卉園芸	熊本県農業試験場園芸支場	861-11	熊本県菊池郡西合志町須屋2450	小林研二	09624-2-0167
	ロンドリーナ近郊	大塚由起子	25	熊本	生活改善	宮城ドレスメーカー専門学校	980	宮城県仙台市春日町9番10号	菅野貞子	0222-22-5221
	グアタバラ	高橋定次郎	26	山形	畜産	山形県立農業経営大学校	996	山形県新庄市大字角沢1336	新関信一郎	02332-2-1527
	日光	竹田和夫	27	高知	農業機械	神奈川農業大学校	243-04	神奈川県海老名市杉久保2006	和泉清久	0462-21-5274
(ベレーン)	グアマ	米川洋二	27	熊本	畜産	安達養鶏場	861-01	熊本県鹿本郡植木町岩野927	安達誠	09627-2-0359
	ベラピスタ	喜納清美	21	(大分)	農業機械	北海道フォートトラクター(株)	078-02	旭川市永山三条6丁目64番地	高薄達雄	0166-48-1101
	第2トメアスー	四元敏夫	24	宮崎	農業機械	北海道立中央農業試験場	069-13	北海道夕張郡長沼町東六線北15	島崎佳郎	01238-9-2311
(レシフェ)	レシフェ近郊	岩田健一	25	(長野)	畜産	千葉県畜産センター	289-11	千葉県印旛郡八街町流台	鹿間義之	0472-95-4511
(ポルト・アレグレ)	ラーモス	桑原正行	29	長崎	花卉園芸	北山兄弟バラ園		アメリカ合衆国カリフォルニア州ユニオンシティ	Ted 北山	
(アスンシオン)	イグアス	公文茂男	25	高知	畜産	岡崎牧場	780	高知県高知市円行寺169	岡崎正英	0888-72-9496
	アルト・バラナ	篠藤喜男	23	愛媛	農協業務	愛媛県農業協同組合研修所	791-31	愛媛県伊予郡松前町西高柳	岡田慎吾	08998-4-2243
	アマンバイ	岡本深幸	25	兵庫	生活改善	日本高等国民学校	319-03	茨城県東茨城郡内原町内原1497	加藤彌彦	029259-2003
(フェノス・アイレス)	ウルキツサ	橋本敬之	29	福岡	花卉園芸	花卉栽培農家	834	福岡県八女市大字忠見384	藤田恵	09432-2-4635
	"	木村茂	24	群馬	花卉園芸	群馬県園芸試験場	379-22	群馬県佐波郡東村大字西小保方493	中村吉男	02706-2-1021
(サンタ・クルス)	サンフアン	畑原等	25	長崎	農業機械	岩見沢機械センター(株)	068	北海道岩見沢市四条15丁目3番地	渡辺一一	01262-2-4421
	"	吉永末広	24	長崎	農協業務	川副農業協同組合	840-22	佐賀県佐賀郡川副町大字鹿江2304	大坪平	09524-5-5111
	オキナワ	山城博明	21	沖縄	畜産	沖縄県家畜衛生試験場	902	沖縄県那覇市古波蔵112	上里宣治	0988-32-1515

第5回移住者子弟技術

研修生研修機関一覧表

支部および地区名	氏名	年齢	本籍地	研修希望職種	研修機関名	郵便番号	所在地	代表者名	電話番号
リオ・デ・ジャネイロ									
ブラジリア	大城竹幸	23	沖縄	観葉鉢物	第一園芸KK富士園芸研修学校	410-13	静岡県駿東郡小山町上野字下ノ原1101	佐藤正司	0550-6-0645
サンパウロ									
日光	有田和人	28	愛知	果樹園芸	山梨県果樹試験場	405	山梨市万力1530	大野俊雄	05532-2-1921
ピニヤール	広瀬昭憲	22	福井	農業機械	福井県農業試験場	910	福井市寮町辺線52-22	石墨慶一郎	0776-24-5100
ムンドノーボ	田中愛	18	秋田	生活改善	秋田県農業短期大学	010-04	南秋田郡大湯村	佐藤健吉	018545-2026
グアタバラ	小林武久	19	長野	畜産(養豚)	長野県畜産試験場	399-07	長野市塩尻大字片丘10847	久保田建御	02635-2-1186
日光	中村清	25	三重	養鶏	三重県農業経営大学校	515-22	一志郡嬉野町川北	竹内博	059844-2-1258
ベレーン									
第2トメアス	平水繁	26	宮崎	畜産(牧畜)	熊本県草地畜産高等研修所	869-23	阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦1454	寺本一人	09673-2-1231
"	遠藤憲一	27	福島	"	福島県畜産試験場	960-21	福島市荒井字地蔵原甲18	吉田武紀	024504-4
トレゼセテンプロ	須藤毅	21	福島	自動車整備	仙台高等職業訓練校	983	仙台市田子字寺1	鈴木正雄	0222-58-1151
レンシーフェ									
サルバドール	吉井丈治	19	千葉	畜産(牧畜)	群馬県畜産試験場	371-01	勢多郡富士見村小暮2425	大江正直	027288-2222
ポルト・アレグレ									
ラーモス	鈴木等	24	北海道	果樹	長野県園芸試験場	382	須坂市大字小河原492	広瀬健吉	02624-5-0295
アスン・ソオン									
イグアス	関節朗	20	群馬	養蚕	群馬県蚕業試験場	371	前橋市総社町総社2326-2	宮沢鉄雄	0272-51-5145
アルト・バラナ	工藤則吉	23	岩手	旋盤・電気溶接	盛岡専修職業訓練校		盛岡市南仙北3-10-40	外岡九郎	0196-36-1706
アマンバイ	下元敬	22	高知	畜産	群馬県畜産試験場	371-01	勢多郡富士見村小暮2425	大江正直	027288-2222
ブエノス・アイレス									
ガルアベ	水野悦郎	24	長野	柑橘	静岡県柑橘果樹試験場	424	清水市駒越2712	中間和光	0543-34-5351
ウルキツサ	西田孝	18	長崎	花卉(カネシヨウ)	長崎県総合農林試験場	854	諫早市貝津町3118	高木陸夫	09572-2-3330
サンタ・クルーズ									
サンフアン	牧尾孝司	19	長崎	畜産(牧畜)	長崎県畜産試験場	859	南高来郡有明町湯江丁3600	宮島良明	0957605-516
オキナワ	宮城邦夫	22	沖縄	"	"	859	"	"	"
"	池原正英	21	"	"	"	859	"	"	"

第4回移住者子弟技術研修生

研修機関一覧表

地区	氏名	研修職種	研修機関名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
リオ・デ・ジャネイロ イタグアイ	岡崎ソニア・マリア (26才)	花卉	(株)赤塚植物園	514-22	三重県津市高野尾町	(0592) 26-2851	代表取締役: 赤塚 充 良
サンパウロ グアタバラ	渡辺 一 寛 (25才)	養鶏	茨城県養鶏試験場	311-31	東茨城郡茨城町大字小幡字栗林320の3	(02929) 2-1133	場長: 吉 田 貢
サンパウロ 日 光	中 村 弘 (27才)	養蚕	群馬県蚕業試験場	371	前橋市総社町総社2326の2	(0272) 51-5145	場長: 宮 沢 鉄 雄
サンパウロ ビニヤール	深 沢 裕 夫 (23才)	果樹	山梨県果樹試験場	405	山梨市万力1530	(05532) 2-1921	場長: 大 野 俊 雄
サンパウロ バルセア・アレグレ	西 山 立 美 (20才)	農産加工	山口県経済農業協同組合連合会 山口加工場	759-11	山口市仁保下郷第1,771	(08392) 7-0111	会長: 滝口 純 工場長: 村本 俊雄
ベレーン モンテ・アレグレ	高 谷 和 夫 (26才)	牧畜	福岡県種畜場	838-01	小郡市北中尾4,839の7	(09427) 2-2128	場長: 尾 高 従 宣
ベレーン マナウス	出 田 洋 次 (24才)	自動車整備	熊本県専修職業訓練校	861-41	熊本市御幸笹田町375	(0963) 64-1217	校長: 有 働 安 則
ベレーン アカラ	細 越 卓 美 (21才)	"	東京都江戸川高等職業訓練校	132	都内江戸川区中央2-31-27	(03) 653-1221	校長: 鈴 木 興 一
レジーフェ クビチェック	竹 並 明 弘 (21才)	柑 橘	福岡県園芸試験場	814	福岡市南区大字柏原571	(092) 55-1861	場長: 小 原 越
レジーフェ クビチェック	神 田 晃 (19才)	"	"	"	"	"	"
ポルト・アレグレ イタチ	宮 崎 信 輔 (28才)	果樹	熊本県果樹試験場	861-53	飽託郡河内町船津	(096300) 24	場長: 西 田 久 仁 徳
アスンシオン フラム	渡 辺 保 夫 (23才)	農 協	広島県農業協同組合研修センター	730	広島市牛田町早稲田	(0822) 22-5262	所長: 大 田 黒 亮
アスンシオン アマンバイ	原 本 功 (26才)	"	高知県大方農業協同組合	789-19	高知県幡田郡大方町		町長: 小野川 俊二 組合長: 長 野 正 季
アスンシオン アスンシオン	堤 田 元 克 (22才)	果樹	山梨県果樹試験場	405	山梨市万力1,530	(05532) 2-1921	場長: 大 野 俊 雄
ブエノス・アイレス アデス	米 慎 也 (21才)	"	"	"	"	"	"
ブエノス・アイレス ガルアペー	植 松 吉 卷 (24才)	"	農林省果樹試験場 興津支場	424-02	清水市興津中町	(0543) 69-2111	支場長: 千野 知 長 場長: 佐藤 公 一
サンタ・クルース オキナワ	平 良 賢 次 (27才)	農 協	福岡県農業協同組合講習所	813	福岡市東区大字名島字汐見2,751の38	(092) 68-0304	所長: 原 田 猛
サンタ・クルース サンファン	藤 井 恒 正 (26才)	"	"	"	"	"	"
サンタ・クルース オキナワ	幸 地 哲 雄 (23才)	"	"	"	"	"	"
サント・ドミンゴ ハラバコア	福 永 正 彦 (26才)	農業機械	佐賀県農業研修学園	840-22	佐賀郡川副町南里	(09524) 5-2145	園長: 吉 岡 充 男

第3回移住者子弟

技術研修生一覽表

国名	地区名	氏名	年令	性別	渡航月日	渡航時 年令	本籍地	研修科目	研 修 先
ブラジル国	ノボ・フリブルゴ	野口 忠 義	24	男	昭和32年 3月	8才	北海道	花 卉	神奈川県立農業大学校 (篤農家) 大沢春吉 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
同 上	カタバラ	設楽 新作	23	男	" 38年 7月	13"	茨 城	養 蚕	群馬県蚕業試験場 (48.4 ~ 49.9)
同 上	日 光	佐々木 哲朗	23	男	" 34年 2月	8"	愛 媛	養 蚕	同 上
同 上	ノボ・ムンド	大塚 寛	22	男	" 32年 8月	6"	徳 島	農 協 留 易	徳島県農協中堅職員養成所 徳島県石井町農業協同組合 大洋漁業(株) 留易第2部 (48.4 ~ 48.7) (48.8 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.9)
同 上	第2トメアス	西田 清	21	男	" 41年 2月	14"	宮 崎	農業機械	農林省農業技術研修館 茨城イセキ販売(株)ほか (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
同 上	サンタレン	千葉 京子	23	女	" 29年12月	5"	宮 城	農産加工	宮城県立上沼農校実習部 清安市農業協同組合 (48.4 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.3)
同 上	クビチュック	東 春好	20	男	" 35年 3月	7"	長 崎	花 卉	長崎県総合農林センター 長崎県大村果樹試験場 (48.4 ~ 48.9) (48.10 ~ 49.9)
同 上	イボチ	三輪 新太郎	22	男	" 29年11月	3"	静 岡	果 樹	山梨県果樹試験場 (篤農家) 内田金之助 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
パラグアイ国	アルト・パラナ	永井 儀昭	28	男	" 36年 4月	16"	愛 媛	畜 産	農林省十勝種畜牧場 群馬県畜産試験場 (48.4 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.9)
同 上	イグアス	渡辺 準一	20	男	" 42年 6月	14"	福 岡	畜 産	農林省十勝種畜牧場 埼玉種畜牧場 (48.4 ~ 48.11) (48.12 ~ 49.9)
同 上	アマンバイ	岡本 儀彦	25	男	" 33年 8月	10"	兵 庫	農 協	兵庫専修職業訓練校 兵庫県姫路農業協同組合 (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
アルゼンチン国	カルアベ	小野 達朗	24	男	" 36年 4月	12"	宮 崎	果 樹	宮崎県立農業大学校 長崎県大村果樹試験場 農林省園芸試験場、興津支場 (48.4 ~ 48.10) (48.11 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
ポリビア国	オキナワ第1	根間 玄真	25	男	" 29年 7月	6"	沖 縄	農 協 留 易	宮崎県立農協講習所 兼 松 江 商 (株) (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
同 上	サンフアン	長谷 研詞	22	男	" 30年 5月	4"	長 崎	農業機械	農林省農業技術研修館 イセキ・カワサキサービス販売(株) (48.4 ~ 49.3) (49.4 ~ 49.9)
ドミニカ国	ビセンテ・ノーブレ	鈴木 雅	23	男	" 33年 5月	9"	愛 知	果 樹	愛知県農業総合試験場 (48.4 ~ 49.9)

第2回(昭和47年度)

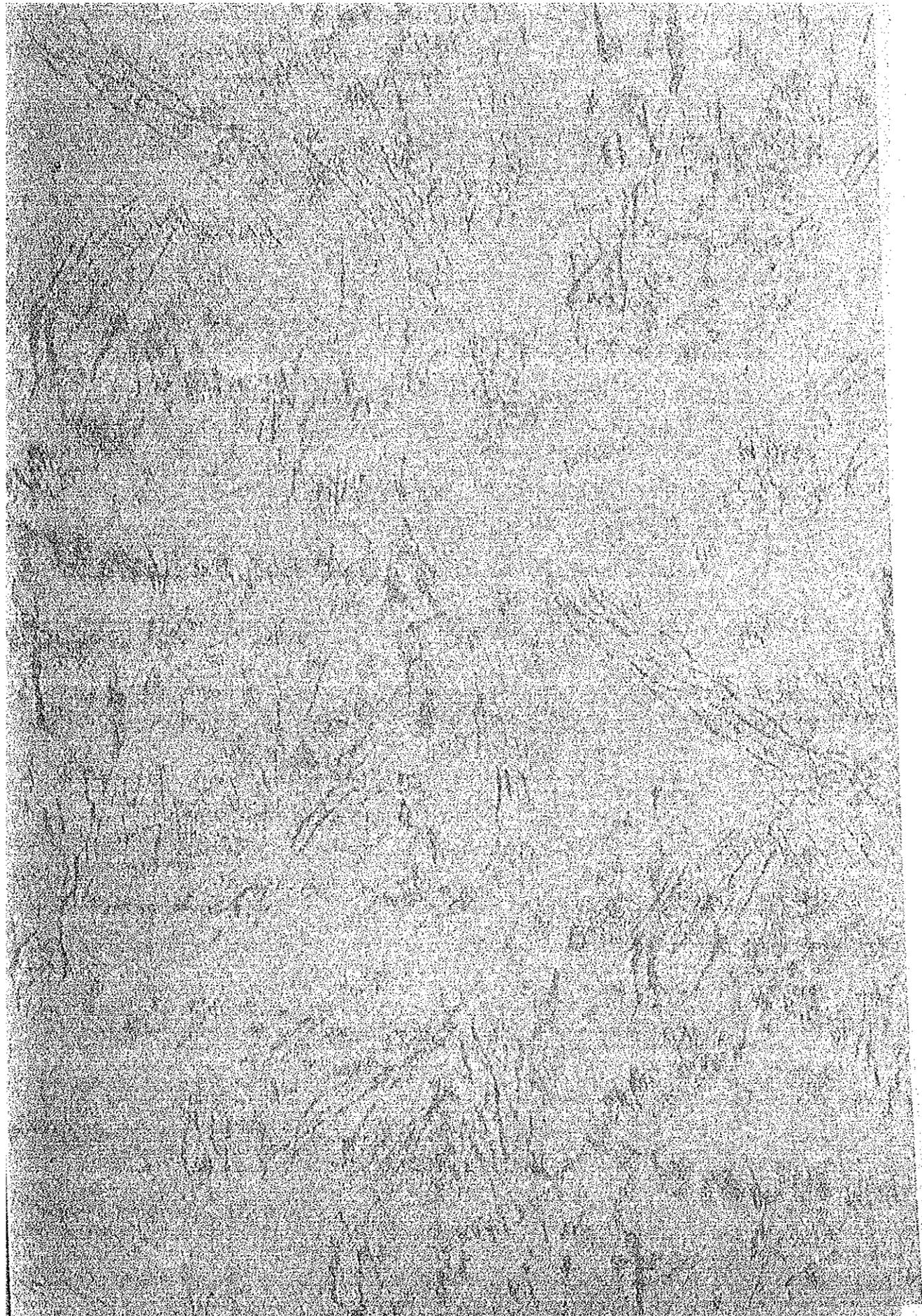
移住者子弟技術研修生一覽表

国名	地区	氏名	生年月日 (年齢)	渡航 年月日	(日本) 学歴 現地	本籍地または 父親出身地	研修機関	主な研修内容
ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ市 バブカイヤ地区	横山 覚	S. 29.5.16 (18)	2世	(一) 中卒	(父) 福島	福島県立 小高農業高等学校	そ菜・園芸・農学一般
	サン・パウロ州 ジャカレイ移住地	山上 としこ	26.12.6 (21)	S. 40.8	(中3中退) 中1中退	愛 媛	堺市養鶏農業協同組合	畜産(ブロイラ養鶏)
	サン・パウロ州 桜植民地	佐藤 良洋	25.5.26 (22)	38.1	(中1中退) (一)	北 海 道	神奈川県立 農業大学校別科	花・果樹
	アマゾンナス州 マナウス市	石沢 力雄	22.8.9 (25)	29.4	(一) 商高卒	山 形	座王ハム有限公司	畜産加工(ハム・ソーセージ)
	ベルナンブーコ州 リオ・ボニート入植地	森村 正隆	17.10.11 (29)	31.7	(中2中退)	群 馬	群馬県畜産試験場	そ菜・畜産
	サンタ・カリーナ州 ラーモス移住地	日浦 秀雄	20.10.19 (26)	37.10	(中退)	北 海 道	長野県園芸試験場	果樹(リンゴ)
	イタプア県 フラム移住地	久岡 寛	16.6.19 (31)	33.7	(高1修了) 小4修了	高 知	群馬県立 農業大学校蚕業学校	養 蚕
	サンタ・クルーズ県 オキナワ オキナワ第3移住地	久高 将行	24.8.3 (24)	36	(小6中退) 高 卒	沖 縄	三井物産(株)大阪支店 原綿糸織物部綿花課	① 綿花事情 ② 綿花格付士資格取得 (アメリカ)
	ドミニカ ベラビア県 パニー地区	藤川 求	22.12.13 (23)	32.10	(小4中退) 高2在中	愛 媛	雇用促進事業団 愛媛総合高等職業訓練校	農業機械修理

第1回(昭和46年度)

移住者子弟技術研修生一覽表

国名	(推せん支部)	氏名	生年月日 年令	学歴(日本) 現地	本籍地または 父親出身地	研修機関	研修内容
ドミニカ	(サントドミンゴ) コンスタンサ	村田千秋	昭和23.3.14 23才	(小3中退) 中卒	鹿児島県川内市	鹿児島県 農村センター 高等部園芸科	そま培、午前中講義受講、午後除草、消毒、出荷等実習。研修旅行(ヤンマー長浜研究所で3日間農業用エンジン分解・組立実習、長野県管伝中央農場、京都タキイ種苗見学)。
ブラジル	(ベレン) 第2トメアス	武藤義博	17.4.7 29才	(小卒) 中卒	福島県会津若松市	福島県立 農業短期大学 協同組合科	農業経済、農業簿記、農協原論、農協経営論、農業法規、農業機械等講義受講。研修旅行(静岡県三ヶ日農協他2ヶ所)。県内湯野農協等で実習。
ラトヴィヤ	(レシーフェ) クビチェック	岡本耕次	25.6.14 21才	(小4中退) 高卒	愛媛県 東宇和郡城内町	愛媛県 果樹試験場南予分場	講義~落葉果樹、病虫害防除、土壌肥料、柑橘栽培等。 実習~夏柑採果、除草、薬剤散布、落果調査等。 落葉果樹研修。
ジブラルタル	(リオデジャネイロ) フンシャル	池田秀広	27.7.5 19才	(なし) 2世 中卒	広島県深安郡市村	広島県立 西条農業高等学校 広島県食品工業試験場	果物の成分検査、イチゴジャム、ママレードの加工実習、トラクター運転実習。 工場見学(三島食品)7/26~8/31県食品工業試験場で研修(農産物加工製造技術および同分析法の課程終了)
ブルガリア	(サンパウロ) グアタバラ	脇山昭治	25.10.28 20才	(小6中退) 工業学校 SENAI (職業訓練コース)卒	佐賀県唐津市	佐賀県 養鶏試験場	養鶏経営(衛生、繁殖、育種等)を中心とした講義受講。解体、飼料配合等の実習。全販連佐賀種鶏場における雛卵舎、育雛舎、病理解体等の場外実習。
ブラジル	(サンパウロ) ビニャール	山田豊	23.10.6 22才	(中卒) 小2修了	福井県武生市	福井県 農業後継者センター 本科畜産専攻	乳牛飼育について午前中講義、午後実習。5/24から1ヶ月間農家実習(乳牛) 7/19~24第2回全国農村青少年研修交換大会(於八ヶ岳)に参加。
ボリビア	(サンタクルス) サンファン	仁田原豊	23.9.4 23才	(小3中退) 高1中退	福岡県八女郡黒木町	福岡県 種鶏場	衛生面を主体に育雛管理、防疫、解剖等の実習。飼料、設備、交配等専門的分野の講義受講。9月より2ヶ月間民間養鶏場で実習(飼育管理の実際、販売流通システム等)。
パラグアイ	(アスンシオン) エンカルナシオン	安田孝	12.4.3 34才	(大2中退) なし	秋田県仙北郡協和村	秋田県立 金足農業高等学校 農協専攻科	農協法、農業経済、簿記等講義受講。7/23~29県経済連で各支部実習。 金浦農協等県内農協で実習。8/10~13埼玉県川口市内で農業研修
アルゼンチン	(ブエノスアイレス) ブエノスアイレス州 クアルテル・クアル ト・モレノ	榎本一稔	27.3.26 19才	(なし) 2才 渡航時 中卒	和歌山県田辺市	和歌山県 農業大学校 園芸科花卉部門	農業経営、果樹、作物、畜産、農業機械等講義受講。 サルビア、マリーゴールド、ペコニア等の育苗、定植その他の花卉実習。



JICA

0
2
E